

事 成 例 果 集

MIYAGI
2018

ものづくり補助金宮城県地域事務局
宮城県中小企業団体中央会

は じ め に

本会では、中小企業・小規模事業者の皆様が取り組む、生産性向上に資する革新的サービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行うための設備投資等をご支援する『ものづくり補助金』事業の地域事務局を運営しております。

我が国の企業数の約99%は中小企業が占めており、日本経済の基盤を支える大きな役割を果たしています。特に地方の経済社会に於いては中小企業の存在は大きく、地域の様々な場面に於ける牽引役としての役割も担っていますが、一方で経済のグローバル化等による競争の激化や人口減少などの影響もあり非常に厳しい状況に置かれているのが実情ではないかと思えます。

「ものづくり補助金」はこうした中小企業・小規模事業者を対象に、競争力強化を支援し、経営基盤の底上げを図るとともに、即効的な需要の喚起と経済の好循環を促進することを目的に創設され、平成29年度補正に至るまで6年連続して予算化が図られており、本県ではこれまでに約560件が採択となり多くの企業の皆様にご活用頂いてまいりました。

本事例集は、これまでに採択された様々な事例の中から、各分野で成果を挙げている25社の皆様のご協力を得て、各社が取り組まれた事業の実施内容や開発した新商品の概要等を取りまとめさせて頂いたものです。この事例集が各企業の皆様の今後の事業展開や販路の開拓に、また、新たな取組み等に挑戦される企業等の皆様の道標としてご活用頂ければ幸いです。

結びになりますが、本事例集の作成にあたり、ご多忙にもかかわらず取材等に多大なご協力を頂いた企業や認定経営革新等支援機関など、関係者の皆様に改めて御礼を申し上げます。

平成30年12月

ものづくり補助金宮城県地域事務局
宮城県中小企業団体中央会
会長 **今野 敦之**

ものづくり補助金の事業概要

平成24年度補正 ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金 (県内88件採択)

1次公募		2次公募	
公募開始	平成25年3月15日	公募期間	平成25年6月10日～7月10日
一次締め切り	平成25年3月25日	・応募	11,926件
・応募	1,836件	・採択	5,612件(県内48件)
・採択	742件(県内5件)		
二次締め切り	平成25年4月15日		
・応募	10,209件		
・採択	4,162件(県内35件)		

平成25年度補正 中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業 (県内131件採択)

1次公募		2次公募	
公募開始	平成26年2月17日	公募期間	平成26年7月1日～8月11日
一次締め切り	平成26年3月14日	・応募	14,502件
・応募	7,396件	・採択	4,818件(県内47件)
・採択	2,916件(県内30件)		
二次締め切り	平成26年5月14日		
・応募	15,019件		
・採択	6,697件(県内54件)		

平成26年度補正 ものづくり・商業・サービス革新補助金 (県内116件採択)

1次公募		2次公募	
公募期間	平成27年2月13日～5月8日	公募期間	平成27年6月25日～8月5日
・応募	17,128件	・応募	13,350件
・採択	7,253件(県内61件)	・採択	5,881件(県内55件)

平成27年度補正 ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金 (県内65件採択)

1次公募		2次公募	
公募期間	平成28年2月5日～4月13日	公募期間	平成28年7月8日～8月24日
・応募	24,011件	・応募	2,618件
・採択	7,729件(県内64件)	・採択	219件(県内1件)

平成28年度補正 革新的ものづくり・商業・サービス開発支援補助金 (県内49件採択)

公募	
公募期間	平成28年11月14日～平成29年1月17日
・応募	15,547件
・採択	6,157件(県内49件)

平成29年度補正 ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金 (県内114件採択)

1次公募		2次公募	
公募期間	平成30年2月28日～平成30年4月27日	公募期間	平成30年8月3日～平成30年9月18日
・応募	17,275件	・応募	6,355件
・採択	9,518件(県内89件)	・採択	2,471件(県内25件)

CONTENTS

ものづくり補助金の事業概要	5
認定支援機関インタビュー	
①株式会社商工組合中央金庫 仙台支店	6
②NPO法人未来産業創造おおさき	8
成果事例	
株式会社アーリークロス【28年度補正】	10
アイデア・インターナショナル株式会社【28年度補正】	12
株式会社海祥【27年度補正】	14
笠原餅店【28年度補正】	16
佐々木発條株式会社【28年度補正】	18
株式会社ジー・イー・エス【26年度補正】	20
株式会社セーフティ【26年度補正】	22
仙台伊澤家勝山酒造株式会社【28年度補正】	24
仙台エンジニアリング株式会社【27年度補正】	26
株式会社仙台紙工印刷【28年度補正】	28
株式会社ソーリンク【24年度補正】	30
株式会社泰栄産業【25年度補正】	32
株式会社タカシン【24年度補正】	34
株式会社高松鉄工所【25年度補正】	36
株式会社タフコートジャパン【26年度補正】	38
東北マイクロテック株式会社【28年度補正】	40
萩野酒造株式会社【28年度補正】	42
有限会社平岡製工社【28年度補正】	44
古川工業株式会社【24年度補正】	46
株式会社宮城化成【28年度補正】	48
MIRAI株式会社【27年度補正】	50
有限会社メカ工業【27年度補正】	52
株式会社メムス・コア【25年度補正】	54
ヤマセ電気株式会社【24年度補正】	56
株式会社矢本製作所【28年度補正】	58
採択企業一覧	60

認定支援機関インタビュー ①

株式会社商工組合中央金庫 仙台支店



実績とノウハウで中小企業を総合的に支援

平成29年度補正「ものづくり補助金」における採択件数の合計が
全国の認定支援機関中でトップの株式会社商工組合中央金庫。
宮城県内を営業エリアとする仙台支店の支店長と次長に、地元の企業への支援の現状と今後を伺った。

支援実績が豊富な
中小企業のための金融機関

株式会社商工組合中央金庫（以下、商工中金）は、中小企業による中小企業のための金融機関である。「ものづくり補助金」に対しては、平成24年度の制度創設以来、認定支援機関として補助金申請のための事業計画書の策定支援や事業化支援に積極的に取り組んでいる。仙台支店長の住本佳史氏は、同補助金の特徴と商工中金の支援実績を次のように語る。

「『ものづくり補助金』は、中小企業・小規模事業者が取り



仙台支店長／住本佳史氏

組む生産性向上に資する革新的サービス・試作品の開発、生産プロセスの改善を行うための設備投資等の一部費用を補助するもので、製造系の企業が使いやすい。採択件数の合計で見ると、商工中金は全国に支店があり、平成29年度補正の採択件数が全国の認定支援機関中でトップでした。」

近年、宮城県内では、製造業大手の進出や既存企業の工場拡張などがあり、地元の製造系企業の「ものづくり」の技術力への期待も高まっている。中小企業・中小企業組合に寄り添い、発展を支える商工中金の役割、支援への期待は今後ますます大きくなることだろう。

お客様と対話を重ねて 総合的かつ継続的に支援

商工中金の「経営支援総合金融サービス事業」は、金融サービスにとどまらず、事業活動を総合的にサポートするものだ。具体的には継続的な対



仙台支店

話を通してお客様の事業を深く理解し、お客様の課題解決に繋がる最適なソリューションを提供することに努めている。「補助金採択の鍵は事業計画書です。そこにはお客様自身が事業の強みや弱み、現況や課題を分析し、目指すべき方向を明確に示していなければなりません。さらには、その実現に向けた手段として設備投資や試作開発の必要性が十分に説明されていることも重要です。私たちは対話を重ねてお客様を理解し、認定支援機関として『実現性をより高めるため

の経営指導及び助言』を的確に行い、事業計画書の完成度をより高めることを目指します。私たちは中小企業のお客様の成長と発展のため、補助金申請では事業計画書策定から金融支援、事業化後の販路開拓まで総合的かつ継続的に支援します」と住本氏は語る。

宮城県内の中小企業の 成長と発展をともに

「技術開発や設備投資は恒常的に意識されるべきで、補助金の募集期間に慌てて検討するものではありません。私たちは、その時の補助金だけにとどまらず、お客様の事業の将来性や景気の変動などを見据えた、長期的かつ安定的な取り組みを支援します」と語る住本氏。また、「中小企業の多くは事業計画書を策定するノウハウやスタッフに乏しく、私たち認定支援機関の役割は重要です」と、現状をとらえるのは仙台支店次長の鈴木博史氏。

両氏の発言からは、企業の事業に対するビジョンとその実現を支援する認定支援機関の存在、そして普段からの関係の重要性が伝わってくる。商工中金では、事業資金の融資をはじめ経営に関する提案、補助制度の情報、市場の動向まで、一人の営業担当者が対応する。他の金融機関とは異なるその体制は、お客様との深い信頼に結び付いている。さらには、全国約7万社の中小企業を取引基盤とすることも特徴の一つ。全国47都道府県に支店があり、そのネットワークを活用したビ

ジネスマッチングなどの提案も可能だ。両氏とも「これまでお付き合いのなかった企業様からもお問い合わせいただき、一緒に成長、発展を実現したい」と宮城県内の中小企業とともに歩む未来を思い描く。



仙台支店次長／鈴木博史氏

PROFILE

株式会社商工組合中央金庫 (略称／商工中金) 仙台支店

昭和11年(1936年)、政府と中小企業組合の共同出資により設立された金融機関。平成30年(2018年)に公表した「商工中金経営改革プログラム」では、「真に中小企業のお客様のお役に立つ」を基本的な考え方とし、80年以上にわたる中小企業金融としての実績・ノウハウ、全国・海外ネットワーク等を活かした「経営支援総合金融サービス事業」を進める。

宮城県仙台市青葉区中央二丁目10-30
TEL022-225-7411

認定支援機関インタビュー ②

NPO法人未来産業創造おおさき



連携を軸にした企業活動を広く展開していく

大崎市と緊密な連携をとりながら地域事業者を支援し、
地域産業の活性化を目指す「NPO法人未来産業創造おおさき」。
ものづくり補助金の認定支援機関としての立場からこれからの地域事業者に求める未来像を伺った。

地域企業を多彩に支援し
明るい「おおさき」を

地域企業に対し、新事業創出、農工商連携、販路開拓支援、技術・経営体質向上を目的とした人材育成など、様々な支援事業を展開するNPO法人未来産業創造おおさき（以下、MSO）。同法人では、専門コーディネーターによる技術相談や、ものづくり補助金をはじめとする補助事業活用支援、企業間・産学官とのマッチング支援等を行う「コーディネート機能」と、会員が主体的にテーマを設けて取り組む研修や事業化の準備活動を支援



理事長/石ヶ森信幸氏

する「プロジェクト活動支援」を軸とする。目指すのは、広域的な「おおさき」の活性化。企業支援を行うNPO法人は全国的に見ても多いが、理事長の石ヶ森信幸氏はMSOの特徴を次のように語る。

「例えばコーディネーター機能による支援の場合、我々は専門コーディネーターの派遣回数に制限等を設けていません。とにかく、最後まで面倒を見たい」という支援方針を貫いています」。

プロジェクト活動支援の一例に、東日本大震災で被災した南三陸町の造船所再建支援がある。会員企業が立案し、



事務局統括兼総括コーディネーター/加藤義徳氏

MSOは行政手続き等を担うコーディネーター派遣を行った。これを皮切りに、プロジェクト活動は活発化。連携による新事業化で、平成26年までに2つの法人が誕生した。

異業種間の連携を促進して 新たな事業へと昇華させる

1社単独では実現不可能な事業でも、複数の企業が集ってアイデアを出すことで、新事業に結び付く可能性は大きくなる。事務局統括兼総括コーディネーターを務める加藤義徳氏は「MSOが目指すのは異業種間連携から生まれる新事業の創出。今後の地域企業はそういう取り組みに力を入れていくことが大切です」と力説する。

この思いを具体化しているのが、大崎市やほかの団体とともに構成した実行委員会主催する『おおさき産業フェア』だ。その目的は受注機会の拡大、新規取引先の開拓支援、産業間の連携促進。「出展企業に

とって自社の位置づけが明確化できるメリットもある」と語るのは大崎市産業経済部産業商工課の寺田洋一課長だ。

「大崎市としても地域企業活性化のための施策を揃えています。行政のできる範囲に限られています。その部分をMSOやほかの民間団体に補ってもらいながら施策を強く強めていけるのは何よりの強み。双方の相乗効果で地域を元気づけたいですね」と語る。

事業者に「やる気」を それがMSOの原点

現在、MSOと大崎市では兼ねてから進めてきた新たな連携の枠組みである『おおさき産業推進機構』の構築に注力している。これは民間企業が主体的に動きながら同機構を活用し、国や県の行政や研究機関等と連携することで地域産業を強くしていく狙いがある。

「地域経済の活性化は民間企業がまず動くことから始ま

ります。機構の確立を押し進めるためにも、やる気のある事業者を育てる「ことが大切であり、ものづくり補助金の活用はその入り口となります」と石ヶ森氏。この言葉を受けて加藤氏、寺田氏も「挑戦したい」とやテーマをどんどん我々に投げかけてほしい」と語る。

「新技術・新商品の開発には多くの課題がありますが、研究機関や異業種との連携、補助金の活用などによって、それを解決する手段は必ず見つかります。大切なのはそれを実現するという強い思いであり、



大崎市産業経済部産業商工課 課長/寺田洋一氏

そうした思いを持つ事業者を育てることが我々のミッションです」と石ヶ森氏は語る。見据えるのは「おおさき」の枠をさらに超えた連携の枠組みの構築。その上で産業構造の改革を目指していく。

PROFILE

NPO法人未来産業創造おおさき

平成22年(2010年)、企業連携、マッチング、新産業・新製品の創出を支援し、宮城県大崎市に持続可能な経済基盤を築くことを目的に設立。大崎市産業経済部内に事務局を置く。現在、農業、商業、工業、観光など、正会員65、賛助会員26が加盟。大崎市や古川商工会議所、大崎商工会、玉造商工会とともに『おおさき産業フェア』を毎年開催している。

宮城県大崎市古川七日町1-1
大崎市産業経済部内
TEL.0229-29-9725



代表取締役
佐藤 智裕 氏
《 信条 》
まずは実行すること!

Q1 会社の強みは何ですか？

A1 セールスプロモーションの会社として創業したこともあり、企画から制作・販促支援までワンストップ対応できることが当社の強みです。

Q2 将来の夢は何ですか？

A2 小ロットに対応できるECサイト運営もしていますが、将来的には個人ユーザーがその場で制作できるハンドメイド工房を作りたいですね。

FILE.01

多彩なメニューで企業の販促を支援



**ノベルティをメインに
様々なツールで販促支援**

平成20年(2008年)に広告印刷などを手掛ける会社として創業した株式会社アーリークロス。その後、ノベルティの企画・制作に業務拡大し、現在はノベルティ制作をメインに様々な販促支援事業を展開している。特にECサイトによるノベルティ制作事業の成長は著しく、オリジナル形状の紙クリップを制作できる『激安クリップ王国』や『激安ふせん紙王国』、『激安メモ帳王国』などを展開。カレンダーやうちわなどのノベルティ制作を請け負う他、SPツールなども取り扱っている。

**新たな展開を見据えた
オリジナルグッズの開発**

これまで付箋やメモ帳などのノベルティを中心に事業を押し進めてきた同社だが、新たな展開として販売商品となるグッズの開発・制作

を行うことにした。そこで注目したのが「筆箋」だった。

「近年、インハウンドの成長が著しく、2年後には東京オリンピックが控えています。当社では日本らしいお土産としてオリジナルグッズとなる一筆箋の開発に着手することにしました」と代表取締役の佐藤智裕氏。無料で配られるノベルティに比べ、グッズ商品は利益率が高くなるが、その分、高いクオリティが求められることになる。また、生産コストの低減も見据え、新たな機械



ようになる。従来設備では誤差が発生することもあったが、精密な断裁が可能となった。また、カバーバインダーの導入により、側面80〜310ミリ、厚さ2〜10ミリにも対応できるようになり、短時間での高品質オリジナル一筆箋の生産が実現した。

**グッズ商品生産の実現で
新たな販路拡大が可能に**

和紙など紙を選ばず作ることができる一筆箋は、土産品として商品展開を開始。また、確立した技術はメモ帳への転用もできるため、オリジナルメモ帳を本格事業化する道筋も見えてきた。

「これまでノベルティ関連の展示会に出展していましたが、今回開発したオリジナルグッズ制作の技術により、音楽・スポーツ関連展示会や



設備を導入することで一筆箋の商品開発を目指した。

**高品質性の実現と
低コスト・短納期を両立**

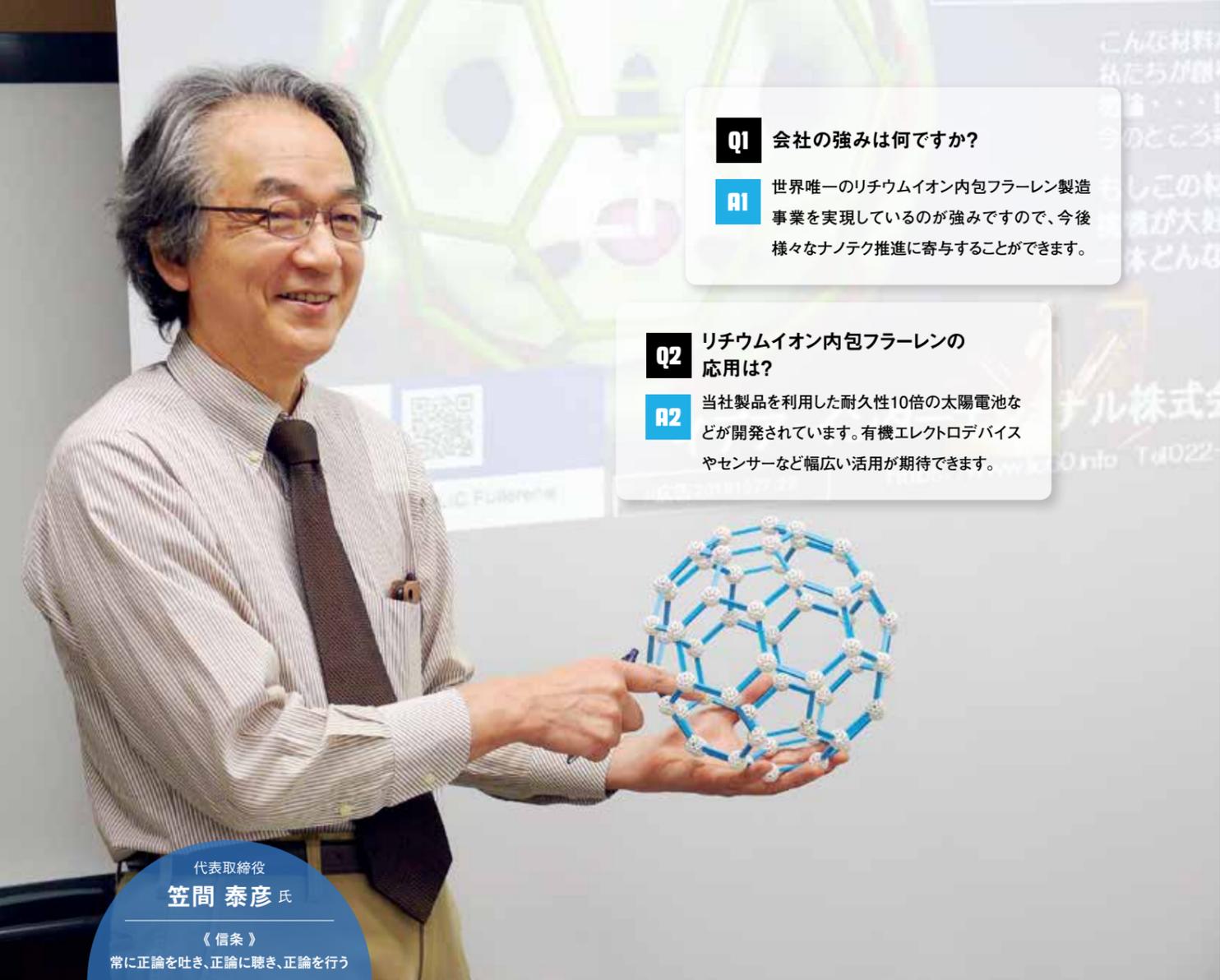
同社が導入したのは、断裁サイズを0.01ミリ刻みで設定できる最新断裁機と、台紙の一部だけに糊付け、表紙をくるむことができるカバーバインダー。製品を作る上では表紙を本文用紙より0.5ミリほど縮小することにより、視覚的に表紙と本文用紙が揃って見える



土産品関係の商品受注に向けて積極的に動いて行きたいと考えています」と佐藤氏は今後の展望を語る。

EARLY CROSS 株式会社アーリークロス
代表取締役 / 佐藤 智裕
所在地 / 宮城県仙台市宮城野区新田2-8-50
TEL / 022-349-9371

【28年度補正】
一筆箋のブランド化、自社制作工程の確立と
オリジナルメモ帳事業の本格化



Q1 会社の強みは何ですか？

A1 世界唯一のリチウムイオン内包フラレン製造事業を実現しているのが強みですので、今後様々なナノテク推進に寄与することができます。

Q2 リチウムイオン内包フラレンの応用は？

A2 当社製品を利用した耐久性10倍の太陽電池などが開発されています。有機エレクトロデバイスやセンサーなど幅広い活用が期待できます。

代表取締役
笠間 泰彦 氏

《信条》

常に正論を吐き、正論に聴き、正論を行う

FILE.02

宮城をナノテク時代のシリコンバレーに

世界初大量生産の成功で
世界唯一の事業化を実現

東北大学の基礎研究を進展させ、世界初のリチウムイオン内包フラレンの量産化に成功し、世界で唯一の製造販売を行っているベンチャー企業のアイデア・インターナショナル株式会社。フラレンとは60個の炭素原子で構成されるサッカーボール状の分子で、様々な研究開発が進むナノカーボン的一种である。

「リチウムイオン内包フラレンは、直径1ナノメートルの何も無い完全真空の空間にリチウムイオン1個が自由に浮かんでいる他に類を見ない不思議な素材です。量産化と構造解析を実現したことで、今後幅広い分野での応用が期待されています」と代表取締役の笠間泰彦氏。

フラレン内包率の向上で
製品生産の効率化を目指す

リチウムイオン内包フラレンの



提供量確保と低コスト化を実現するには、さらなる生産効率の向上を図る必要がある。大学の基礎研究をもとに開発したリチウムイオン生成法ではレニウム金属表面を2500度の高温にする必要があったが、ある物質を使えば1000度以下の低温でイオン発生効率を10倍以上にできる可能性があることが解っていた。

「実現すればこの素材は完全に工業材料の仲間入りができます。一日も早く多くの若い研究者の手に届け、新しい価値の創造に取り組ん

見ない革新的な低温化高効率プラズマシヤワー源で目標を達成している。

フラレン技術の活性化で
ナノテクの発展に貢献する

今後は発生したリチウムイオンを効率よく基板エリアへ移送する技術開発に取り組みが、すべきことは見えてると笠間氏。まずはリチウムイオン内包フラレンでグローバル試薬市場を確立し、さらに他の内包フラレン研究開発の推進を目指す。

「東北大学や仙台高専、地元企業との連携を進めることで、新しい価値創りに挑戦する『開発オタク』がこの地に集まり競い合う、それを事業にしよう」と挑戦する『事業化オタク』が集う。そして新しいナノテク企業が次々と産まれる。ここ宮城の地を、ナノテク実用時代を支える『新しい泉』に育てることが目標です。」



アイデア・インターナショナル株式会社

代表取締役 / 笠間 泰彦

所在地 / 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-04
東北大学未来科学技術共同研究センター ハッチェリースクエア内 (実施場所)

T E L / 022-795-3164



新開発した装置を装着し
イオン化生成量10倍達成

新しい仕組みを使えば1000度以下でイオン発生10倍を可能とする一方で、発生させたリチウムイオンを制御し、効率良く内包化に結び付けるための新しい技術開発が必要であった。これらの新機能も同社独自のフラレン内包化装置に実装したことで従来比10倍のリチウムイオンの生成に成功。世界でも類を



で欲しい。その一心で低温高効率プラズマシヤワー源の製作に着手しました。」

Q1 会社の強みは何ですか？

A1 素材を活かし、徹底した品質管理で作る安心・安全な商品です。水産加工品評会で農林水産大臣賞や宮城県知事賞などを受賞しました。

Q2 関上のブランド化についての取り組みは？

A2 水産加工団地の皆さんと共同で名取市の特産品「北限のしらす」をアピールしています。高品質にこだわり、ブランド力を高めていきます。

代表取締役
大友 史祥 氏
《 信条 》
人間万事塞翁が馬



小魚・海藻類の健康食を消費者へ届ける

株式会社海祥は、シラスやちりめん、小女子などの小魚をはじめ、スルメや丸干し、総菜の製造・加工・卸売り販売を手掛けている。同社は平成6年（1994年）、小魚を中心にした海の健康食を安全に消費者に届けることを目的として代表取締役の大友史祥氏が創業した。ビジネスは順調に伸び、同社は仙台市若林区卸町と塩釜市に工場を構えたが、異物選別ラインであった塩釜工場が震災で被災。規模を縮小して卸町工場での事業を再開し、その後、平成29年（2017年）には名取市関上の水産加工団地に本社工場を新設して事業を展開している。

市場のニーズに対応してさらに売上の拡大を図る

「震災後は販路が縮小し、売上の回復が大きな課題でした。そのた

FILE.03

品質をさらに高め、中食分野へ進出

めには市場ニーズである納期短縮とロングライフ商品の開発に定める必要がありました」と語る大友氏。また近年のコンビニエンスストアやスーパーマーケットではノントレイ商品が主流になりつつある。こうした背景も踏まえ、同社では手作業等によって多くの時間を要していた工程を洗い出し、最新の生産ラインの導入を検討。生産性向上を図るとともに市場が依然として拡大傾向にある中食に着目し、新商品の開発を目指した。



課題の克服とともにマーケットが大きく広がる

導入したのはノントレイ包装機と、複数の食品を同時に加熱殺菌し、総菜製品等の調理にも使えるスチームコンベクション。短時間で急速凍結が可能なプラスチックラ、深型容器の製品を生産するトレイシーラー。これらの機器の活用によって生産性と顧客ニーズである納期短縮と賞味期限の長期化を実現することが可能になった。



全国の産地と食卓を結ぶ食のプロデューサーへ

「従来の賞味期限は2週間でしたが3〜4週間に伸び、東海地区以南のマーケットも視野に入りました」と大友氏は語る。

新しい生産ラインを活かし、ツインパック商品や生しらす、カキのオリブオイル漬けなど、着々と新商品を誕生させている同社。補助事業で得られた成果を武器にして、全国展開の食材宅配サービス会社や、持ち帰り弁当チェーンなどの企業との契約に結び付いている。「今後はHACCPを取得し、消費者の安全志向を叶える企業として加工・流通・販売に至るまでの



品質をさらに高めます」と大友氏。地元三陸のみならず、全国の産地と世界の食卓を結ぶ食のプロデューサーを目指す。



株式会社海祥

代表取締役 / 大友 史祥

所在地 / 宮城県名取市関上4-173-2

T E L / 022-302-4130

【27年度補正】
最新ノン・トレイラッパー導入による品質保持技術及び包装工程改善による安全性と生産性の向上



代表
笠原 公平氏
《信条》
何事もバランスを大事にしています

Q1 会社の強みは何ですか？
A1 祖父母の代から守り続けている「薪と釜戸」による餅づくりです。その優しい味わいはお客さまからも好評をいただいております。

Q2 ネット通販で力を入れたいことは？
A2 サイトのリニューアルです。薪と釜戸で作る餅というストーリー性を打ち出しながら、競合店との差別化を打ち出していきたいですね。



FILE.04

薪と釜戸で作る「だわりのお餅を全国へ

創業当時から続く
昔ながらの餅づくりを守る

大和町にある笠原餅店は、昭和22年（1947年）の創業。現代表を務める笠原公平氏の祖父母が農業の副業として始めたという同店のこだわりは、「薪と釜戸」で作る昔ながらの餅とおこわで、黒川郡周辺を中心とした地元密着型の事業を展開してきた。

また、近年はネット通販にも進出しており、ずんだ餅やあんこ餅、くさみ餅などを販売。全国からの注文も数多い。

伝統の製法はそのままに
生産性を高めていく

好調なネット通販では東北をはじめ、関東や関西からも買い求める顧客が増加傾向にあり、同店にとって製造工程の効率的な改善は一つの課題であった。

「施設や設備の老朽化への対策は

もちろん、作業工程における効率的な動線の確保も当店の課題でした。新工場建設に伴っては設備の一新はもちろん、原料米の保管方法も含めた上で課題全体を洗い出し、生産性と製品の品質向上を図ることを目指しました」と笠原氏は語る。

他店との差別化に結び付く薪と釜戸を使用した製造方法はそのままに、同店では品質・安全性・生産性の面から製造環境を改善。



より多くの消費者に対して商品提供を可能にする環境づくりを目指した。

作業時間のみならず
味もより一層豊かに

同店では熱効率に優れたインソライトかまどと、餅米の保存を行うプレハブ冷蔵庫に加え、取引先から要望の高かった金属探知機を導入。動線にも配慮した工場設計の効果もあり、作業時間も大幅に短

縮した。

「餅米を冷蔵保存にしたり、新工場建設に合わせて井戸水から上水道（浄水器使用）に切り替えたことで、餅のフワフワ感が以前よりも増した仕上がりになりました」と笠原氏。購入者からも好評の声が寄せられている。

地域食材を取り入れ
ブランド力を高める

生産性と品質の向上に伴い、同店では新製品の開発にも着手している。今後地域の特産品を用いた「和スイーツ」の開発とそのブランド確立を目指していきたいと笠原氏は語る。



ともあり、ずんだ餅は当店の主力製品ですが、次の柱となる商品の開発と育成が大切です」と笠原氏。最近では東京のフランス料理店の協力を得て新商品の開発がスタートした。3年以内に売上と生産量の5割増を目標に掲げている。



笠原餅店
代表 / 笠原 公平
所在地 / 宮城県黒川郡大和町吉岡字中町45
TEL / 022-345-3209

【28年度補正】
薪と釜戸で作る安全・安心な「和スイーツ」
生産体制の構築



Q1 会社の強みは何ですか？

A1 創業から80年にわたって培われてきた手加工の様々なノウハウです。お客様のニーズに応じ、製作困難な製品にも挑戦しています。

Q2 顧客の反応は？

A2 高品質・短納期ということで、早速引き合いが来ています。少量でコンパクトな角線バネの新規需要も高まっているので今後が楽しみです。

中新田工場 工場長
中島 啓一氏

《 信条 》
謙虚に行動する

FILE.05

独自加工の角線バネで新たな市場を創造

創業80年を迎える
バネ、スプリング製造会社

佐々木発條株式会社は、昭和15年（1940年）の創業以来、一貫してバネ及びスプリングの製造を手掛けている会社だ。線径に対するコイル径の厳しいコイルバネの製造を得意としており、形状、大きさ、取り付け時加重などから最適なバネを提案。少量手作りから量産機械加工に至るまで、多種多様なニーズに応えてきた。

同社が手掛けたバネやスプリングは、重機などのオイルフィルター、荷役関係機器、油圧機器、自動車、鉄道車両、電気機械関係など、多くの分野に用いられている。

技術的難易度の高い
角線バネの生産性を高める

本社は東京都大田区東糀谷だが、量産対応の製造ラインは加美町の新田工場にある。

「角線バネは多品種少量生産の色合いが濃い製品です。丸線とは異なり、人手による生産では1個当たりの加工時間が長く、自動機では品種切り替えのための段取り時間がかかってしまうという課題がありました」と語るのは、工場長の中島啓一氏。従来、角線バネの加工は旋盤を使った手作業を中心にしていた。同社ではこれら技術的課題を克服し、製作時間の短縮を短納期に結び付けるため、自動化による角線バネの生産性向上を目指した。



NCCコイルングマシンに
手加工のノウハウを活かす

同社ではNCCコイルングマシンを導入し、手加工で培ったノウハウを活かして角線バネ用のバネ巻きツールとNCCプログラムを開発。試作を通じてツールの微調整とプログラムの最適化を図った。その結果、1個当たりの加工速度が2〜3倍に上がり、定盤上に立てた時の傾斜角も目標とする2度以内に収まる加工法を確立させた。



また、段取り時間においても作業工程を改善し、トータル的に作業時間を大幅に短縮。ニーズの高まる短納期への体制を整えた。

高付加価値な角線バネによる
他社との差別化に期待

角線バネをはじめとする加工の難しい多品種少量品を、手加工のノウハウを融合させたNCCコイルングマシンで製作することで品質安定と生産性向上を図った。それは他社との差別化にも結び付く。

「当社が構築した加工法は簡単には他社が追従できるものではありません」と中島氏。技術的難易度の



高い高付加価値品としての角線バネは、その需要が高まりつつある。中島氏はこの波に乗って同社の業績が大きく伸びることに期待を寄せている。



SHK 佐々木発條株式会社

代表取締役 / 佐々木 毅彦

所在地 / 宮城県加美郡加美町南町37-2

T E L / 0229-63-4851

【28年度補正】
多品種少量角線バネの生産性向上



Q1 会社の強みは何ですか？

A1 産業用機械と理化学機器の双方の技術を活かした独自の機器の設計力をベースに、お客様の要望に応える提案力を強みにしています。

Q2 スカルメルト法のメリットは？

A2 2000度以上の高温にも対応し、大型結晶の育成が可能です。また高価なるつぼが不要であり、安価に高純度の結晶が作成できます。

代表取締役社長
滝野 善弘 氏

《 信条 》
小規模でも技術力で大企業に比肩できる
地域に根付いた国際企業を目指そう
Made in Miyagi



FILE.06

世界初の結晶育成で製造業界に革命を

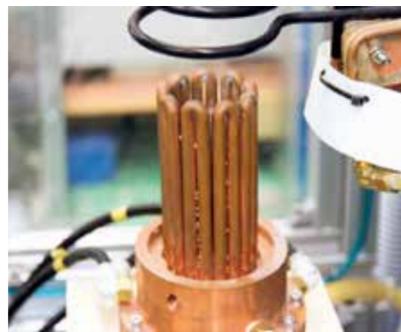
産業用機械と理化学機器の
双壁で事業を展開する

株式会社ジー・イー・エスは、産業用機械と理化学機器の設計・製作を行う企業だ。事業の柱は電子機器や自動車機器分野におけるファクトリーオートメーションの設計・製作。顧客ニーズの先を行く提案型の営業を展開し、性能・コスト・納期を高いレベルで満たした製品は国内大手メーカーや部品サプライヤーからの厚い信頼に結び付いている。同社製品の納入先は欧米諸国やアジアなどにも及ぶ。

また、産業機械で培った技術力とノウハウを礎に、研究者のニーズを的確に捉えた設計力から生まれる理化学機器は、大学やJAXA、官公庁及び民間企業の研究所で活躍。全国の研究者を今日も支え続けている。

ものづくりを支える
結晶作成の新技术を

同社の理化学事業部では、平成24年(2012年)からスカルメルト法と呼ばれる結晶作成技術の開発を行ってきた。これは高価な白金のつぼを使わずに酸化物を溶解し、結晶を作り出す方法で、平成26年(2014年)にはニオブ酸リチウムを溶解に成功した。代表取締役社長の滝野善弘氏はこの取り組みについてこう語る。



「スカルメルト法の溶解技術はロシ

の次世代パワーデバイス用新半導体材料として注目される無機化合物だ。同社では、溶解をスタートするためのイニシエーター(着火剤)、コールドコンテナとワークコイルの形状、高周波発信器周波数、酸化ガリウム形状など多彩な側面から溶解テストを実施。溶解に最適な条件を見いだすため、さらに開発を重ねている。

メイド・イン・ミヤギの技術で
国際企業を目指す

「スカルメルト法とCZ法の組み合わせによる単結晶作成は、世界に例を見ない新技術です。また、酸化ガリウムの単結晶が可能となれば省エネルギー、新エネルギーの効率化にも大きく貢献できます」と滝



アやドイツで確立されていますが、国内では溶解に関しての実例がほぼありません。当社では、絶縁性酸化物をスカルメルト法で溶解し、当社保有技術であるCZ法で単結晶を作成する技術開発を継続しており、次のステップとして酸化ガリウムの溶解を目指しました。

様々な側面から
最適条件を見いだす

酸化ガリウムは電力、鉄道車両、家電製品などに広く使われ、第3



野氏。事業化の際は技術ライセンス販売を展開していく予定だ。メイド・イン・ミヤギの技術と製品で、同社は大企業に比肩できる、地域に根付いた国際企業を目指す。

株式会社ジー・イー・エス

代表取締役社長 / 滝野 善弘

所在地 / 宮城県宮城郡利府町しらかし台6-4-4

T E L / 022-356-1455

【26年度補正】
事業テーマ
スカルメルト法による酸化ガリウム単結晶育成の
為の融解技術の開発



代表取締役
横江 正之 氏

《 信条 》

失敗を恐れない！失敗があって成長する！

Q1 会社の強みは何ですか？

A1 世界三大漁場の宮城三陸産の新鮮な海の幸がすぐに手に入るロケーションです。また、チャレンジ精神に溢れる会社というのも特徴です。

Q2 宮城県産ムール貝の特徴は？

A2 ムール貝は養殖カキの殻に付きますが、他と違って県産カキは2年掛けて育てるので、ムール貝の身も大きく、ミネラル豊富に育ちます。

FILE.07

増産体制の確立で市場ニーズに対応



新鮮な宮城県三陸産海産物を全国の消費者に届ける

ムール貝やカキ、アワビ、ホヤ、渡り蟹、ワカメ、アカモクなど宮城県三陸産にこだわった海の幸を手掛ける株式会社セーフティ。特にムール貝については出荷する事業者が少ないことから、同社の主力商品となっている。

「もともと海産物は未経験だったので、手始めにライバルが少ないムール貝から始めました。それもあってムール貝が当社の柱の一つとなっています」と代表取締役の横江正之氏。取引先の多くは築地などの首都圏や関西圏だが、ネット販売による全国への直販も展開している。

選別作業の省力化とともに選別精度の向上も課題

ムール貝の取りきは重さではなく、外殻の大きさによって行われた

ため、貝の大きさによる選別作業が必要不可欠となるが、従来はオリジナルの選別器具を使っての作業だった。これには時間と人手が必要となる。また、商品の大きさを細かく揃えて欲しいというニーズがあり、選別作業の精度向上も求められていた。そこで同社では画像認識カメラ搭載自動選別機を導入することで、課題の解決と生産性の向上を図った。また、削減した人員が従事するシヤコ海老の冷凍加工では、こちらも新たに導入した急

自動選別機による生産性の向上によって増産体制が可能となり、販路の拡大も見えてきた。今後はネット直販の拡充や海外展開も見据えた販路開拓に注力。また、確立した急速冷凍技術を他商品での転用も検討中。さらに安定収穫で



シヤコ海老の加工では、ボイルシヤコ海老を急速冷凍することで、風味を損なわずに一年を通して美味しいボイルシヤコ海老の安定供給が可能となった。「シヤコ海老は圧倒的に『活』の人氣が高いので、今後はボイルシヤコ海老自体の需要開拓が必要になってくると思います」。

自然まかせが難しい海産物安定商品の充実で販路拡大へ

自動選別機による生産性の向上によって増産体制が可能となり、販路の拡大も見えてきた。今後はネット直販の拡充や海外展開も見据えた販路開拓に注力。また、確立した急速冷凍技術を他商品での転用も検討中。さらに安定収穫で



速冷却冷凍装置によって商品力の向上を目指した。

独自仕様の自動選別機で時短と精度向上を実現

導入した画像認識カメラ搭載自動選別機は、独自開発の選別仕様とすることでカメラがミリ単位で大きさを自動選別。専用レーン上での仕分けも全自動で行われることで無人での選別作業が可能となり、選別精度も飛躍的に向上している。また、自動選別機はほかの貝類でも選別可能なので、今後は様々な商品での活用も考えているという。



きる海藻類の商品開発を行うことで、売上げ安定と商品の充実も目指す。

株式会社セーフティ

代表取締役 / 横江 正之

所在地 / 宮城県石巻市松並1-10-8

T E L / 0225-94-7524

【26年度補正】
画像認識カメラ搭載自動選別機導入による
精度及び生産性向上と増収計画

事業テーマ



FILE.08

海外で評価を高めブランド力の向上を

仙台藩の御酒御用酒屋
近年は高級酒醸造に注力

仙台伊澤家勝山酒造株式会社は、元禄年間の創業。仙台藩の御酒御用酒屋として、伊達の美酒美

食文化を守り続けている。同社は、昭和56年(1981年)から高級酒醸造に注力。平成17年(2005年)には高品質化を進めるため仙台市泉区に移転、県内初となる純米蔵を建設した。

「当社では1週間にタンク1本という精緻で贅沢な仕込みを行い、高純度の日本酒を醸しています」と語るのは代表取締役社長の伊澤平藏氏。新しい醸造哲学・理論・技術を惜しみなく注ぎ込み、他社の追

Q1 会社の強みは何ですか？

A1 “造り”に重きを置いた酒造りです。開放タンクや遠心分離器などを用い、伝統的手法と最新技術を融合した酒造りを行っています。

Q2 勝山酒造の日本酒の特徴は？

A2 当社の商品は、食材本来の美味しさを引き立てる力を持った食中酒です。「なめらかで透明感のある綺麗な旨口酒」が特徴です。

代表取締役社長
伊澤 平藏 氏

《 信条 》
まずは、挑戦してみよう



随を許さない酒造りは、高級酒の激戦区であるニューヨークでも高く評価され、同社の日本酒は約20カ国で愛飲されている。

課題はサンプル量の採取と正確な分析値の把握

新たに「とても濃いタイプの日本酒」と「ワインに近い濃度の日本酒」の開発を試みていた同社。これらは配合する水の割合が少ないため、従来の分析法では必要なサンプル量の採取が難しく、正確な分析値の把握が困難だった。

「また、2つの商品は醪がとても濃い上に、既存の搾り機は圧搾盤のピストンが短いため、醪を絞りきれないというロスが発生してしま



海外での評価をさらに高め国内でもブランド力を強化

新たな機器導入によって、さらに品質の向上と維持が可能になった勝山の酒造り。その成果は同社商品の「元」と「鶏」として形になっている。

「当社の酒質をさらに向上させることにも個性をより際立たせることで、より進化した日本酒の提供が可能となりました。海外での評価をさらに高め、国内市場のブランド力強化に結び付けていきます。その成功の鍵は常温保存にあると考えています」と伊澤氏。普段の生活に入り込める日本酒の提案で、新たなマーケット開拓を狙う。



仙台伊澤家勝山酒造株式会社

代表取締役社長 / 伊澤 平藏

所在地 / 宮城県仙台市泉区福岡字二又25-1

T E L / 022-348-2611

【28年度補正】
事業テーマ
圧搾、検査工程の改善による日本酒のブランド強化、海外展開事業



機器導入の成果は
従業員の労働負荷軽減も

分析器導入後は、少量のサンプル採取で正確な分析値を得ることが可能になった他、新しい搾り機ではエキス分を多く含んだ高濃度の日本酒を搾りきれなくなった。「コスト削減と従業員の労働負荷が軽減され、他の工程の生産性を高めることが可能になりました。少人数で醸造を行う当社にとって大きな成果です」。



た」。

同社ではこれらの課題を解決するため、アルコール測定分析システム及び総酸・アミノ酸測定システムと、佐瀬式吟醸搾り機を導入した。



Q1 会社の強みは何ですか？

A1 精密金型にはミクロン単位の調整がつきものです。当社ではその修正加工・追加加工に即応できる体制を整え、付加価値にしています。

Q2 内視鏡処置具を金型で成形する利点は？

A2 コストダウンのほか、機械加工による削り出しでは難しかった形状も製作可能になります。処置具の理想的形状の追求には金型が有利です。

代表取締役
佐藤 浩明 氏

《 信条 》
企業は人から

FILE.09

金型による医療器具製造への挑戦

金型の設計・製作と
部品の加工を事業の柱に

巨理町に拠点を構える仙台エンジニアリング株式会社は、スマートフォン用レンズホルダーや医療用歯科矯正用治具などの微細で高品質な精密金型製作や、部品の加工を手掛けている。

「創業当初はコネクタ等のパーツ加工を主に手掛けていました。金型製作に進出したのはリーマンショックの1年前から。金型の主要パーツ製作といった多品種小ロットの案件も数多く手掛けています」。

こう語るのは代表取締役の佐藤浩明氏。他社が敬遠しがちな修正加工、追加加工のフォローも積極的に行うその姿勢は、次の案件につながるという好循環をもたらしている。

削り出しから金型へ
大きく変わる医療ニーズ

同社に持ち込まれた案件の一つ



「従来の処置具製造は削り出しが中心ですがコストが高く新品使い捨てには不向きです。そこで最新のMIM成型を用いた製造技術が研究されています」。

同社では機械剛性に優れた高精度高速微細加工機を導入し、内



視鏡処置具のMIM成型に必要な金型の高精度加工技術の開発を試みた。

目標を大きく上回る
加工精度を安定的に実現

同社ではタップ加工下穴、精密穴あけ加工、円柱及び八角形加工など、多角的にテスト加工を行い、高精度加工技術を確立。事業実施前の加工精度が穴位置精度・形状精度ともに±5ミクロンであったのに対し、加工機導入後は穴位置精度が±2ミクロン、形状精度は±1



近隣企業と協力しながら、自社製品を手掛けていければと思っています」。

ミクロンとなり、目標値の±3ミクロンを上回る加工精度を安定的に実現できるようになった。

「技術基盤の構築後、試作した金型を顧客へ納品しました。今は先方で検証を重ねており、その返答を待っている状況です」。

得られた成果を多分野へ
将来は自社製品の開発も

導入した高精度高速微細加工機は他案件の生産性向上にも結び付いていると佐藤氏。今後も部品加工6割、金型製作4割の比率を变えることなく、各事業に厚みを持たせていく。

「キャッシュフローの面からもこの比率を保ちながら、他の医療分野や介護ロボットなどの新分野に挑戦していきたいですね。最終的には



仙台エンジニアリング株式会社

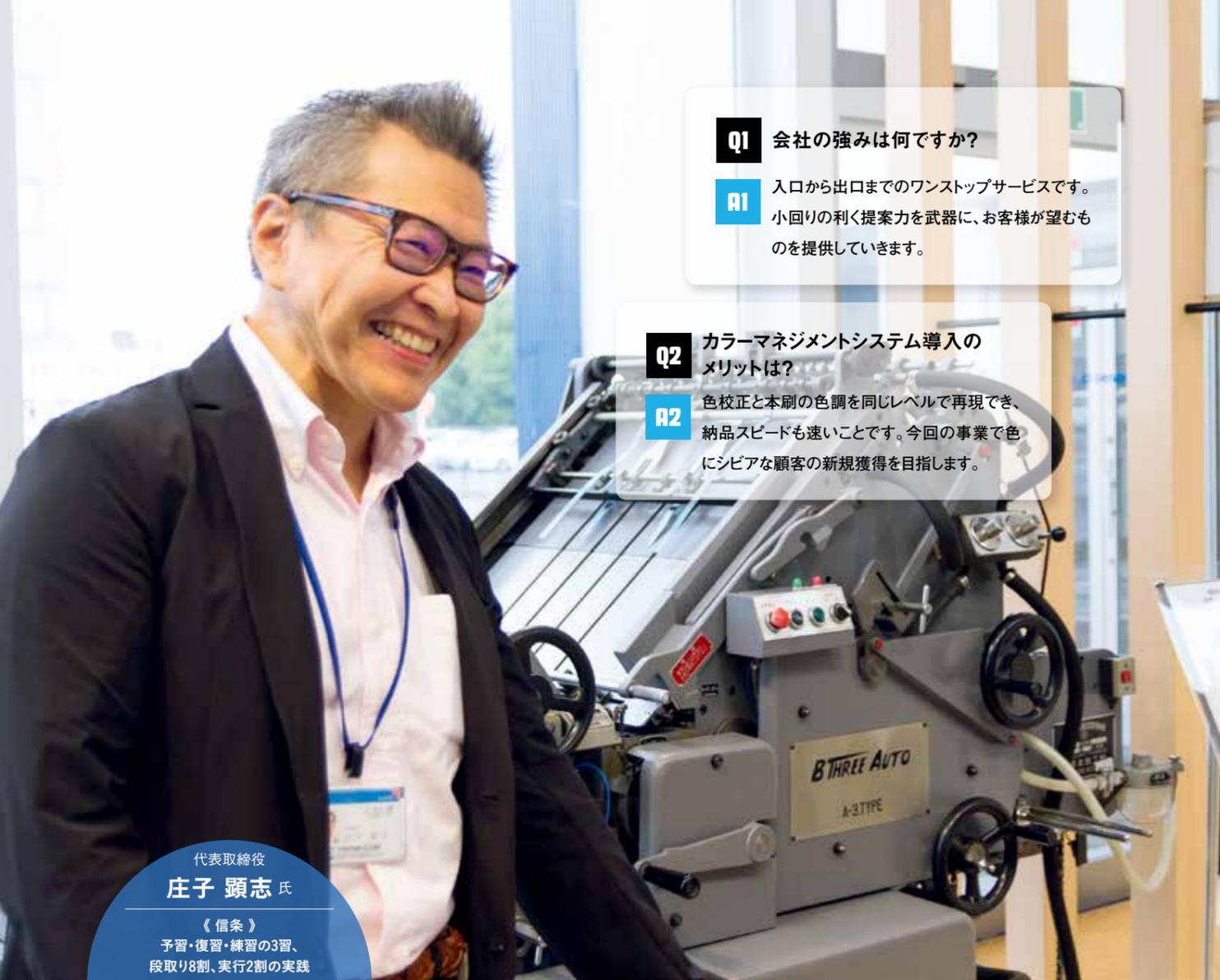
代表取締役 / 佐藤 浩明

所在地 / 宮城県巨理郡巨理町逢鹿鹿島字寺前南70-1

T E L / 0223-34-7746

【27年度補正】
先端医療技術に貢献するMIM成型用金型の
精密加工技術開発事業

事業テーマ



Q1 会社の強みは何ですか？

A1 入口から出口までのワンストップサービスです。小回りの利く提案力を武器に、お客様が望むものを提供していきます。

Q2 カラーマネジメントシステム導入のメリットは？

A2 色校正と本刷の色調を同じレベルで再現でき、納品スピードも速いことです。今回の事業で色にシビアな顧客の新規獲得を目指します。

代表取締役
庄子 顕志 氏

《 信条 》

予習・復習・練習の3習、
段取り8割、実行2割の実践

FILE.10

高品質な印刷で提案力に磨きをかける

エンドユーザー視点の
営業を幅広く展開

株式会社仙台紙工印刷は、グラフィックデザイン及び各種媒体のデザイン・企画制作や、各種商業印刷物の印刷をはじめ、出版物の企画・立案・制作、広告宣伝の代理業及び販売、インターネット情報処理サービスなどを幅広く手掛けている。

「当社では印刷のデジタル化に伴い、広告代理店やデザイン会社を中心とした受注体制から、エンドユーザーに重きを置いた営業戦略に転換しました。お客様と真剣に向き合うクラフトマンシップをモットーに掲げ、ワンストップサービスを提供していきます。」

こう語るの代表取締役の庄子顕志氏。印刷業は製造業でありサービス業でもあると捉え、同社は提案型の事業展開で業績を伸ばしてきた。

短納期ニーズに応えるため
技術面から時間管理に迫る

同社では、高品質かつ短納期で印刷物を提供していくため、制作工程全体を見直し、その中でも多くの時間を要していた色調整と印刷物の乾燥に着目。モニターやプリンター、印刷機などのデバイス間の色を総合的に管理するカラーマネジメントシステムを融合した速乾印刷技術の確立を目指した。そこで、データ制作と色校正の工程間にお



ける再作業を減らし、速乾印刷に最適な印刷物の供給を行うCTP機（印刷版出力機）を導入した。
色調再現品質と速乾印刷で
大幅に納期を短縮

これに伴い、カラーブルーフヤオンデマンド印刷機、CTP機の出力機にそれぞれ付属していたRIPと呼ばれる印刷用データ変換ソフトをワンソース化し、校正紙と印刷本紙の色調を同じように再現できる体制を構築。また、工場内の温度と



湿度を従来以上に徹底して管理した上でインク量と湿し水の水温及び供給量の調整を行い、速乾印刷を支える印刷版であるサーマルCTPプレートの出力条件の最適化を行った。
「色調整と乾燥時間が大幅に短縮できました。無線織じ製本での製造では67パーセントの低減を成果として得ました」と庄子氏は話す。

技術力を高めながら
人材を育てていく

同社では今後も全体の工程をさらに見直し、従来で3日を要していた納期を1.5日に短縮していく。そして得られた成果を活用し、今後は既存顧客を囲い込み、深耕拡大、新規顧客の開拓に結び付けて



いく。「そこには提案力の強化が不可欠。技術向上に併せ、人材育成にも力を入れていきます」と語る庄子氏。技術力向上の次にはさらなる営業力の強化を見据えている。

株式会社仙台紙工印刷

代表取締役 / 庄子 顕志

所在地 / 宮城県仙台市宮城野区苦竹3-1-14

T E L / 022-231-2245

【28年度補正】
カラーマネジメントシステムを融合した速乾印刷技術の確立による競争力強化



Q1 会社の強みは何ですか？

A1 3D CAD、iCADによる設計、電子デバイス製造装置の知見、一貫製作、小型から大型装置対応、中国での事業展開です。

Q2 展示会での反応は？

A2 デモ稼働によるアピールは注目度が抜群です。名刺交換をさせていただく数も違いますし、その後の商談もスムーズに進みました。

営業チームチーフ
只野 雅頭 氏

《信条》

会社と製品にプライドを持つ



FILE.11

精緻な自動機で東北の製造業を強く

自動機や検査装置などを設計から設置まで一貫製作

株式会社ソーリンクは、モバイル端末、デジタルカメラ、コピー機などの電子部品製造における各種自動機、省力化、検査装置などの設計製作を行う企業だ。特に電子デバイス製造装置の知見が高く、小型から大型装置まで顧客の要望をフルオーダーで製作。また、設計から設置に至るまでの一貫製作体制を整えるなど、その多彩な強みは取引先からの厚い信頼にも結び付いている。近年では中国でも事業を展開しており、高精度部品や架台、ベースの製作を行っている。

難易度の高い作業に応える2機のデモ自動機を製作

「人が行うことができない難易度の高い作業法の確立や、製品の品質向上とその安定、生産数の向上を図りたいという声近年高まっ

てきています」と語るのは同社営業チームチーフの只野雅頭氏。

同社ではそうした製造現場からのニーズに応えるため、画像センサーとサーボモーターを活用した高精度位置決め技術を付加した自動デモ機の開発に着手した。

開発したのは精密ゴムやポリイミドシール、SDカードシールなどを連続して貼り重ねていく「貼付装置」と、高速で円弧運動を行って検体をシャレード等に自動で塗り付けていく「塗布装置」。いずれも同社の



後工程における装置の受注にも結び付いています」と只野氏。トータルな製造装置としての拡販も順調で、新規顧客獲得に向けてさらに提案を続けていく。

ノウハウと提案力を生かし新分野の顧客獲得を目指す

今後は電子デバイス製造装置の開発・製造で培ったノウハウを生かし、新分野への進出を目指したいと只野氏。その一つに掲げるのが自動運転等注目が集まる自動車業界への参入だ。

「お客様のご要望に対して、リアルタイムで応えられる提案力も当社の強みです。幅広い視野を持って様々なニーズを拾い上げていきたいですね」。



コア技術を搭載しており、このデモ機を用いて技術力の高さをアピールした。

コア装置に付随する装置の受注にも成功

同社では顧客の前でのデモンストレーションや、スロー映像を用いてアピールに務めたほか、展示会にも積極的に参加。顧客の反応もよく、「貼付装置」は電子デバイス分野へ、「塗布装置」は医療・バイオ関連への販売に結び付けている。

「コアとなる貼付・塗布装置の前



強みを生かし、良いものを早く提供する仕組みづくりとその開発に注力する同社。世界で勝つグローバルなものづくり会社を支援していく。

株式会社ソーリンク

代表取締役 / 桐山 秀造

所在地 / 宮城県黒川郡大和町テクノヒルズ31

T E L / 022-347-3611

【24年度補正】
画像センサーとサーボモータを使用する
高精度位置決め技術を付加した「貼付装置」・「塗布装置」の拡販

事業テーマ



代表取締役
嶋 功二 氏

《 信条 》
できるまで諦めないこと

Q1 会社の強みは何ですか？

A1 創業以来培った丸鋸に対する膨大なデータが強みです。丸鋸専門という実績と経験で時流に乗って国内林業・製材業に貢献していきます。

Q2 次世代型丸鋸製材機とは？

A2 一度に様々な加工を施す製材機です。メンテナンス・管理に優れ、滑らかな木肌となる丸鋸のメリットの他、人手不足にも貢献できます。



木材住宅の減少や安価な輸入木材の流入によって国内林業・製材業は長らく苦戦を強いられ、国内木材自給率は28パーセントにまで落ち込んでいる。しかし、平成21年（2009年）に国内木材自給率50パーセント以上を目指す「森林・林業再生プラン」が策定され、国内林業・

今後増えて行く木材需要と丸鋸製材機械の進化に貢献

度でもすぐに調整を施すことができ、試作開発を着実に進められる。また、これらの結果、さらに膨大なデータを集積することが可能となり、納期の大幅短縮と利益率向上を実現するだけでなく、顧客仕様に合った高品質な製品提供が可能となっている。

株式会社泰栄産業

代表取締役 / 嶋 功二

所在地 / 宮城県仙台市若林区鶴代町1-50-3

T E L / 022-284-5351

【25年度補正】
次世代型丸鋸製材機械の
顧客仕様に合せた刃物の試作開発

製材業の活性化が見られる。「近年では新たな建材となる木材を活用したCLTの普及などもある。業界全体が向上しています。この時流に乗ってさらなる顧客開拓に注力したいと思えます。」



創業以来培ってきた技術力希少となった丸鋸専門会社

昭和47年（1972年）の創業以来、製材・木工機械の販売・メンテナンス、鋸刃の販売・調整・研磨を手掛けているのが仙台市若林区にある株式会社泰栄産業だ。製材機械用鋸には円板型鋸の丸鋸と帯状鋸の帯鋸があり、昭和の中頃までは丸鋸が主流であったが、その後、太い丸太にも対応できる帯鋸が普及し、現在はほとんどの製材機械が帯鋸となっている。そんな中、創業から丸鋸専門で事業を展開する同社は、貴重な存在となっている。

「近年、次世代型丸鋸製材機械が注目され普及しつつあります。丸鋸にこだわってきた当社に取っては大きなチャンスです」と代表取締役の嶋功二氏。

**鋸刃の外注製作による課題
納期と利益率の改善を図る**

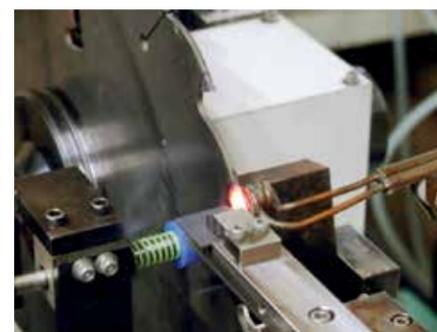


製材機械の鋸刃は木材の種類や機械の特性によって最適な仕様に合わせなければならず、これまでは顧客の機械に合った仕様の刃を、同社が蓄積してきたデータから設定し、刃物製造を外注していた。しかし、次世代型丸鋸製材機械の普及によって増える受注に対応するためには、社内製造が必要となっていた。

「外注に頼ることで利益率が下がることに加え、納期にも時間が掛かってしまいます。この課題解決のために、新たな設備を導入することにしました。」

**内製化による課題解決で
細やかなサービスも実現**

今回の事業で導入したのが、手動高周波ろう付機、小径基盤測定機、腰入れプレス機、手動両側面研磨機。これらの設備導入により社内での刃物製造が可能となり、次世代型丸鋸製材機械の性能をさらに強化できる試作品鋸刃の開発に取り組んだ。社内製造なので何



FILE.12

活況を帯びる国内林業・製材業の力に



Q1 会社の強みは何ですか？

A1 成長戦略としてプラスチック成形を強化し、金型設計から製作・射出成形まで一括管理体制で行い、短納期対応できるのが強みです。

Q2 医療産業参入について教えてください。

A2 医療産業は成長著しく、本社工場では医療機器製造業許可とISO13485を取得し、医療用処置具の部品加工・組み立てを行っています。

代表取締役
船水 清吾 氏

《 信条 》

スピード・創造・実践をモットーとしています

FILE.13

高精度部品製造で試作から量産まで対応

培った組み立て加工技術で
東日本に9工場を展開

昭和54年(1979年)に青森県平川市で創業した株式会社タカシン。青森県内を中心に埼玉県内などに工場を展開し、平成23年(2011年)には仙台工場を開設している。

同社では「コネクタ・カートリッジの組み立てから半導体検査用プローブ治具製造・組み立てなど、電子機器製造受託を中心に試作・部品調達・組み立て・検査、プラスチック成形、生産設備設計・製作など幅広く手掛ける。中でも仙台工場を拠点とする機械加工部では、金属加工や樹脂加工、難形状から微細加工まで形状や材質を選ばない加工製造を行っている。

ハードルが高い航空機産業
さらなる高精度化が不可欠

仙台工場では、加工部品・組立部



品で使用する治工具や消耗部品の設計から製作までを手掛けている。しかし、今後の成長分野と注目されている医療・航空機産業に参入するためには、既存の設備で対応することは難しく、これまでは断念せざるを得なかった。また、顧客からも高精度化・短納期化・低コスト化の要望も高まってきていることもあり、最新複合加工機の導入が必要となっていた。

「従来設備では作業員の錬度に頼っていた部分もあったため、設備



の導入と加工プログラムデータの集積に踏み切りました」と機械加工部長は語る。

高めた技術で医療分野進出
航空機産業参入環境も整う

導入した複合加工機では1台で5面加工が施せるため、従来のNC旋盤とマシニング加工機を使って加工していた時と比べ、リードタイムの大幅な削減を実現。精度においても従来の約2倍という高精度化を達成した。

「操作マニュアルをマスターするだ



る。今後は最新CAD/CAMシステムの導入など、さらに複雑な部品への対応も検討中だ。



けでなく、幾度となく加工シミュレーションを繰り返したことでデータを蓄積し、さらなる技術力向上と低コスト化も実現しています」と機械加工部長。また、医療分野進出に対応するために「医療機器総括製造販売責任者」資格の取得や、新事業開拓への状況を整えつつある。

高精度化と低コスト化で
顧客サービス向上

今回の成果を元に医療分野の機械部品製作に参入。すでに売上げの1割ほどを占めるようになってい

る。また、高精度化と低コスト化を実現したことにより、主な顧客である半導体メーカーや治工具メーカーからの受注も順調に増えている。

株式会社タカシン

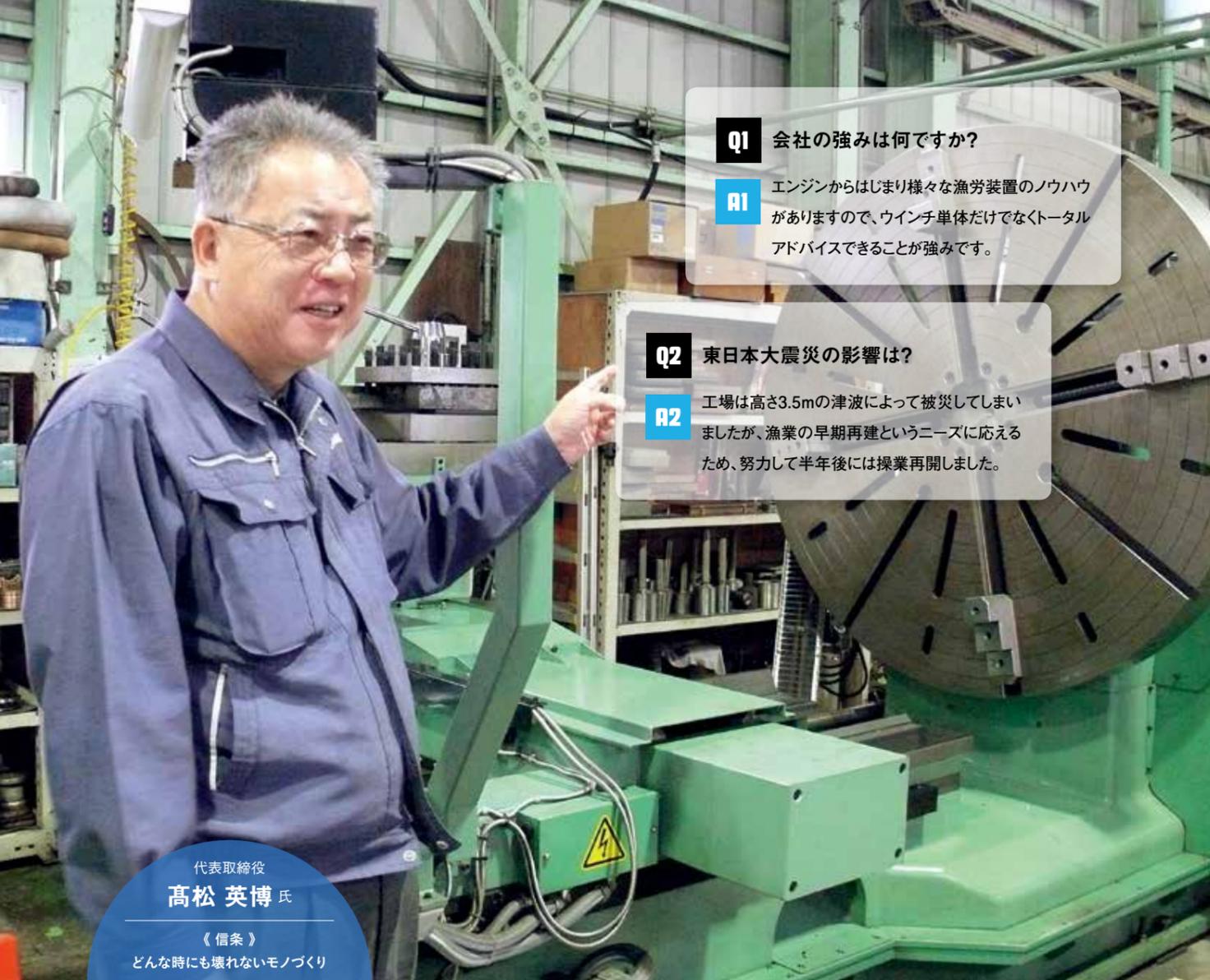
代表取締役 / 船水 清吾

所在地 / 宮城県仙台市若林区六丁の目元町8-28

T E L / 022-288-6108

【24年度補正】
複合加工機導入による高精度化・低コスト化を実現し医療・航空機産業への参入を目指す。

事業テーマ



Q1 会社の強みは何ですか？

A1 エンジンからはじまり様々な漁業装置のノウハウがありますので、ウインチ単体だけでなくータルアドバイスできることが強みです。

Q2 東日本大震災の影響は？

A2 工場は高さ3.5mの津波によって被災してしまいましたが、漁業の早期再建というニーズに応えるため、努力して半年後には操業再開しました。

代表取締役
高松 英博 氏

《 信条 》
どんな時にも壊れないモノづくり



FILE.14

漁業従事者のために自らも進化し続ける

**漁業設備の省力化を推進し
漁業従事者を支え続ける**

大正8年（1919年）の創業以来、様々な漁業機械を取り扱い、地元宮城県をはじめ全国の漁業改善に取り組んできた株式会社高松鉄工所。ウインチなどの漁業装置の設計から製作・設置・修理のほか、船内各種油圧装置のメンテナンスなどを請け負っている。

もともとは船舶用エンジンを手掛けていたが、その後、トロールウインチなど漁業設備の設計・製作を主力に転換。昭和50年代の200海里設定や近年の排他的経済水域策定などによる小型底曳網漁船や漁網の大型化など、時代のニーズに対応した設備の設計・製作を行っている。

**求められるウインチ大型化
手作業での課題解決を目指す**

ウインチの大型化は小型底曳網

漁船や漁網の大型化に伴うだけでなく、漁船員不足や高齢化を補うための漁の効率・省力化という点からも求められ、年々大型化する様相を見せている。

「当社でも大型ウインチ製作を手掛けていましたが、対応する大型旋盤が無かったため、2メートル級の大きさのものについては、一部を手作業で行う必要がありました」と代表取締役の高松英博氏。手作業の場合、作業員の技量の影響を受けるため、組み立て時に微調整が必要になり製造時間のロスに繋がっ



果、組立て時の微調整が不要になり、さらに製造作業の短縮もあって、製品完成までの時間を大幅に削減することに成功した。
「製作時間短縮によって、納期の短縮と製造コストの低減も実現できました。導入3カ月後には第1号を納品しています」。

**漁船代替え推進の時流に乗り
漁業従事者の省力化に貢献**

TPP締結を控え、国による「水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業」が施行され、全国的に老朽化漁船の新造船への代替えが進みつつある。これに伴い、小型底曳網漁船に搭載される大型ウインチの需要が増え続けている絶好の状況にある。



てしまう。そこで大型旋盤機を導入し、課題の解決を目指した。

**鍊度に左右されない製造で
精度向上と納期短縮を実現**

大型旋盤機の導入による効果は非常に大きなものであった。これまではベアリング挿入箇所面の仕上がりが精度が50マイクロ程度であったのに対し、導入後は8マイクロにまで大幅に向上。また、ベアリング外径の仕上がり精度も0.1ミリから0.02ミリへと向上している。この結



「この状況は、あと5〜7年は続くと考えられています。この波に乗り続けるだけでなく、今後も市場ニーズに応えた製品作りに励みたいと思います」。

TK 株式会社高松鉄工所

代表取締役 / 高松 英博

所在地 / 宮城県石巻市築山3-9-15

T E L / 0225-96-6445

【25年度補正】
小型底曳網漁船における省力化の為に
捲取りウインチ大型化に対応する旋盤設備導入



代表取締役
田村 謙征 氏

《 信条 》
座右の名は「柳に雪折れなし」

Q1 会社の強みは何ですか？

A1 タフコートには新車乗用車10年保証といった絶対的な自信があります。また、全国各地に施工ディーラーが展開しているのも強みです。

Q2 タフコートとは？

A2 当社独自の技術を習得した作業員が、独自の防錆剤とスプレーシステムを使用し施工する、他にない防錆システムの総称を指しています。



「現在、ほとんどがカーディーラー

完成した水性防錆剤はその後も改良を加え、また、施工箇所を目視しやすくするため、あえて着色した仕様も開発。コストパフォーマンスに優れる従来防錆剤と、2バージョンの水性防錆剤が揃ったことにより、予算や施工箇所によって使い分けることが可能となった。

選べるタフコートの完成で 客単価と売上げ拡大を実現

「人や環境にも優しく、美観を損なわない水性で透明な新しい防錆剤は、密着力が高く施工後に折り曲げても剥がれることはありません」と代表取締役の田村謙征氏は自信を覗かせる。

に高い密着性も発揮している。

TKU 株式会社タフコートジャパン

代表取締役 / 田村 謙征

所在地 / 宮城県仙台市宮城野区扇町3-10-1

T E L / 045-472-2712(横浜本社)

【26年度補正】
業界初。水性かつ透明の防錆表面処理技術の確立



で扱う新車の防錆に利用されていますが、将来的には家屋や橋などの様々な建材に展開できればと考えています。」



ブランド化も実現した 防錆のスペシャリスト

防錆システムブランドであるタフコートやカーケア関連製品を手掛ける株式会社カーケアシステムから、タフコート部門を独立させた株式会社タフコートジャパン。本社は横浜だが、融雪剤による錆被害が大きい東北・北海道地区をサポートするため仙台市宮城野区に仙台事業所を構える。現在、全国各地に独占加盟契約店52社を展開し、事業を拡大し続けている。1台の自動車をも長く乗り続けるユーザーが増加する近年、注目度は非常に高いものとなっている。

これまでにない水性透明の革新的な防錆剤開発に着手

新たな商品開発として独自の防錆剤を模索してきた同社は、水性で透明性を維持する新しい防錆剤の基礎研究があることを知り共同



開発に着手した。

油性の有機溶剤を使用する防錆剤は、施工する作業員の身体に悪影響を及ぼす可能性もあるため防護が必要となる。また、従来の着色された防錆剤では車両下部など目立たない場所以外では使いづらいというウイークポイントがあった。これらの問題を解決する水性で透明な防錆剤は、業界初の新しい防錆剤となりうる可能性を秘めている。基礎研究は進んでいたが、実際の商品化に向けては、材料の粒子を

ナノレベルにまで小さくし攪拌する技術が必要であった。

装置導入による技術確立で 高機能な防錆剤が誕生

導入した三段真空装置と二軸ミキサーの2つの装置を活用することで、材料粒子をナノ化する技術を確立。これにより、これまでなかった業界初的水性で透明な防錆剤の生成を実現した。しかも、粒子が小さいため浸透性が高く、また粒子同士が強く結び付くことで非常



FILE.15

高機能を発揮する独自の防錆システム



Q1 会社の強みは何ですか？

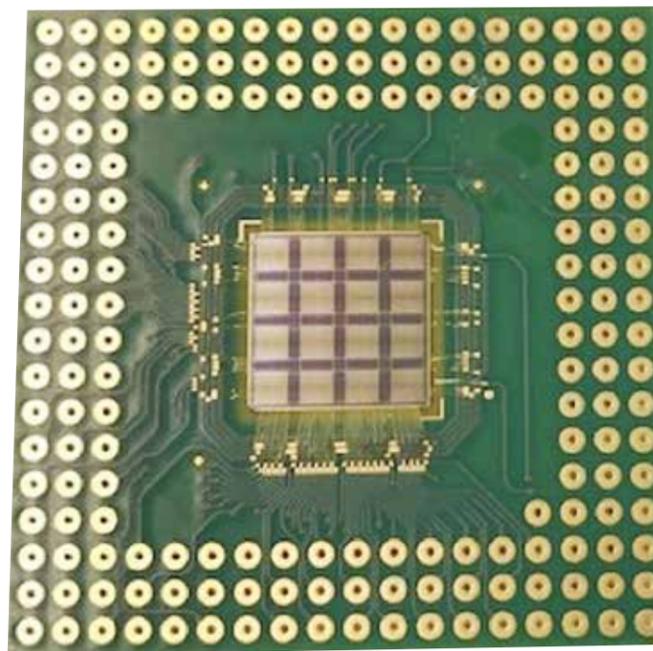
A1 東北大学と連携することで、常に最先端の研究開発が行えることです。他に類のない大型ウェハを作ることができるのも強みの一つです。

Q2 最終目標は？

A2 脳と機械で情報をやり取りするブレイン・マシン・インターフェースで、失った身体の機能回復など人々の暮らしに貢献したいですね。

代表取締役
元吉 真 氏

《 信条 》
やりたいことを続けて行く



東北大の研究成果を実用化
新たな技術革新を支える

平成22年(2010年)に創業した東北マイクロテック株式会社は、東北大学が開発した次世代集積回路となる三次元LSIの製造技術を実用製品化し、新たな技術革新を支えるために設立された。

「微細貫通配線や世界最小マイクロバンパ接合などの技術で、最先端の積層型センサなどを開発しています」と代表取締役の元吉真氏。現在、医療研究用センサの試作受注を中心に、様々なデバイスサンプルの試作や小ロット生産に対応している。

従来技術の100倍以上の
高解像と低被ばく量を実現

同社では従来の金バンパ接続に新たな技術を採用させたことにより、X線センサの解像度を100倍以上に向上させることを実現。

FILE.16

新技術で進化する医療・研究分野に貢献

医療用X線センサパネルとして使用した場合、従来センサと比較してX線吸収率が高く、低被ばく量で高解像のX線画像を得ることが可能となった。

一方、積層するベースLSIウェハ上に電氣的絶縁膜を形成するCVD装置において、ウェハを電極から持ち上げるリフトピンが、熱ストレスによって固着してしまう搬送エラーが頻発する問題が発生。堆積室はプラズマ空間となっているため、一度固着してしまうとウェハの



取り出しに半日以上を費やしてしまうことになる。品質維持と生産性の向上には、この問題の解決が必要不可欠となっていた。

課題解消で試作開発が進む
三次元積層型X線センサ

リフトピンの固着を防ぐために取り組んだのは、新たな下部電極基盤への換装。リフトピンは下部電極に作り込まれるが、固着が起これにくい構造とするため、リフトピン周辺のスペースを広くすることで対応。また、ピン自体の強度を強



めることで変形することを防いだ。課題解決によって積層型X線フラットパネルデバイタの試作が推進されることになり、信号処理LSIとセンサLSIをマイクロバンパ技術によって接合した積層チップの試作品が完成。研究機関からの受注に繋がっている。

試作受注から本格受注まで
技術革新を支え事業拡大へ

現在、製造されるX線センサパネルは医療用として活用されているが、天文観測用など様々な利用方法が考えられる。

「金バンパ接合技術をはじめ当社が保有する最先端技術によって、今後、爆発的な需要が見込まれる三次元LSIの世界的シェアの獲得を目指しています」と元吉氏。ます



は試作品の受注をこなし、その成果を元に、その他の積層型センサデバイス事業に展開する予定だ。

T-Micro 東北マイクロテック株式会社

代表取締役 / 元吉 真

所在地 / 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-40 T-Biz203

T E L / 022-398-6264

【28年度補正】
三次元積層型X線センサの顧客開拓のための
デバイスサンプル作成

事業テーマ



製造部部长
佐藤 善之 氏
《信条》
良い酒は人の和から

Q1 会社の強みは何ですか？

A1 伝統的な「山麩仕込み」を用いたお酒造りは当社の強みのひとつです。自然微生物類を巧みに応用し、きれいな酸味が出るのが特徴です。

Q2 海外での反応は？

A2 当社の手掛ける食中酒としての純米酒は、欧米のワイン文化に通じるものがあるようです。ウィーンでの展示会も好評でした。

FILE.17

伝統の山麩仕込みを磨いて海外へ挑む

秋の鶴を展開する老舗酒蔵
最近では海外からも注目

萩野酒造株式会社は天保11年（1840年）の創業。地域の良質米と栗駒山の伏流水を使い、日本

酒独自の伝統や歴史を守りながらも新しい技術を取り入れた酒造りに力を入れている。

同社が販売する銘柄は、昔から地元で幅広く愛されてきた「萩の鶴」と、平成14年（2002年）から

発売をした全量純米造りの「日輪田」だ。どちらも純米酒以上の食中酒に特化した製品群で展開しており、日本国内はもちろん、最近ではシンガポールや香港、台湾などのアジア圏でも好評を博している。



高まる需要に応えるため
酒造りの全工程を見直す

同社では「日輪田」の製造に伝統製法である山麩仕込みを用いている。この製法は自然微生物類由来の透明感に満ちた酸味が醸し出せる一方で、雑菌の混入防止の目的から真冬の厳寒期だけ行うために製造期間が短く、需要を満たせていないという課題があった。

「そこで改めて酒造りの全工程を見直し、放冷・酒母・火入れ・貯蔵における各工程の改善を図ることにしました」と語るのは同社製造部部长の佐藤善之氏。

自然派製品として国内外から



注目される「日輪田」の生産性に加え、品質そのもののさらなる向上を目指した。

製造環境を大幅に改善して
増産強化と品質向上を実現

同社が導入したのは「日輪田」専用の製造場となる屋内大型冷蔵設備一式をはじめ、原料米の衛生的な放冷処理が行える放冷機、高品質な加熱殺菌及び冷却処理を可能とするバスターライザー・クーラー。これらの機械や装置の導入で、徹底した温度管理による衛生環境の良い製造場が常設され、製造期間は従来の1カ月から2カ月まで伸びたほか、加熱殺菌回数を2回から1



回することでよりフレッシュ感が増した。

「増産と品質向上を同時に図れたことは大きい。冷蔵製造設備は貯蔵庫としても活用できる点も大きなメリットです」。

酒造りの本質を追究して
ブランド力をさらに高める

増産と品質向上の先に見据えるのは、本質的な酒造りの改善であると語る佐藤氏。安定した酒造りと平準化した出荷体制を整えることで従業員満足度、新規雇用、さらには自社社成に結び付けていく。

「そしてブランド力のある山麩純米造りに挑戦します。海外から注



萩野酒造株式会社

代表取締役 / 佐藤 有一

所在地 / 宮城県栗原市金成有壁新町52

T E L / 0228-44-2214

【28年度補正】
伝統的な清酒の山麩造りの高品質化と効率的な増産体制強化による海外等への販路拡大



目を集めている今、日本酒のブランド力強化は清酒業界全体の課題でもあります」。



FILE.18

ステンレスの表面回復に新風をもたらす

製造現場の困りごとを豊富なアイデアで解決

平成8年(1996年)に建築金物の製造からスタートした有限会社平岡製工社。現在は産業機械の設

計・製造を太い柱として事業を展開している。

「製造機械の性能を補うための機械を主に製造しています。自動車絡みの案件も最近では多いですね」と語るのは同社代表取締役の

平岡孝幸氏。現場の困りごとを解決する提案力は顧客からの厚い信頼に結び付いている。

「図面を渡されて要望された機械を造る会社は数多いと思いますが、顧客の悩みを入口としてそれを解



決するアイデアを提案し、ビジネスに展開していく会社は少ないのでは」と語る平岡氏。
同社に寄せられる案件は、全国的に展開する大手メーカーのものも数多い。

ステンレス材の梨地外観を形成するブラスト器を開発

同社の顧客ニーズの一つにステンレスNo.1材の表面状態回復があった。この素材は公共工事での使用頻度が高い一方、加工ミス等で傷が付いた場合は製品として認められず、顧客である施工業者にとってはコストや納期の面でのリスクとなっていた。

「傷や溶接痕を消すブラスト器は存在しますが、表面素材の回復



には限界があります。当社はお客様の要望を受け、既存技術を活用したブラスト器の開発に着手しました。

能力向上と低価格化を図り平成30年6月に発売開始

当社ではブラスタガンとNEパウダーから成るブラスト器の試作1号機を開発していたが、処理能力不足と製作コスト削減の問題を抱え、販売までには至っていなかった。

「ブラスト器の心臓部となるサイクロン製造が課題でした。理想的な円錐形を製作できる機械は販売されておらず、手作業では時間とコストがかかります。そこで特注の円錐加工機を導入しました」。

Q1 会社の強みは何ですか？

A1 相談のしやすさと、現場での提案力だと思います。その場でアイデアを出して即採用に結びつくケースも多いですね。

Q2 NEブラスターの特徴は？

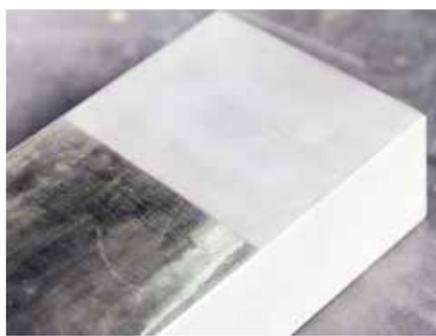
A2 ステンレスNo.1材の擦り傷や穴埋め、材料の継ぎ足し、溶接焼けを短時間で目立たなくできます。コンパクトなので現場作業も簡単です。

さらに当社ではパウダーの飛散量調整や処理時間の短縮、吹き付け部のゴム形状の調整を実施。平成29年(2017年)7月の試作2号機完成後、特許出願に合わせて翌年6月より販売を開始した。

人が真似できない製品を今後も開発し続けていく

「NEブラスター」は傷付いたステンレスNo.1材を元通りの梨地外観に修復できる性能が高く評価され、着実に販売業績を伸ばしている。同製品に着目する企業も多く、現在は販売代理店を通して販路を開拓中だ。

「まずはこの『NEブラスター』を成功させ、さらに世の中のない製



品を造っていききたいですね。目指すは、人が真似できないものづくり会社です」。



有限会社平岡製工社

代表取締役 / 平岡 孝幸

所在地 / 宮城県黒川郡大郷町川内字長福寺山54-4

T E L / 022-347-6370

【28年度補正】
独自のプラストマシンを開発し
SUS304 No.1特有の梨地肌の形成を実現





代表取締役社長
製造本部長
茂泉 勝弘 氏

《信条》社員は家族です

Q1 会社の強みは何ですか？

A1 対応力と営業力を活かし、オーダーメイド製品を安価に短納期で提供しています。エンドユーザーへの訪問も積極的に行っています。

Q2 新製品についてお聞かせください。

A2 震災で停電を経験した宮城から発信する太陽光蓄電システムで、産学医連携で誕生しました。雨の日でも充電可能な常用独立電源です。



「タレットパンチプレスは工程の入口である板金で使用します。ボトルネック抑止も含め、作業工程の改善に大きく貢献しました」と茂泉氏は語る。

速さと正確性を追求しものづくり会社を極める

加工力の向上により、新製品開発にも注力していくと茂泉氏。東北大と共同で東北発の蓄電システムを開発した。

「当社には様々な職人がいます。その技をさらに高められる場を提供していきたい。より速く、より正確に多彩な製品を造り、幅広い技

古川工業株式会社

代表取締役社長 / 茂泉 勝弘

所在地 / 宮城県柴田郡柴田町大字船岡字山田1-27

T E L / 0224-55-2252

【24年度補正】
タレットパンチプレスの導入による
コスト低減並びに生産性の向上



術を身に付けられる環境を整えたいですね。

目指すは、アグレッシブに新分野へ取り組んでいけるものづくり会社。さらにその先には海外進出を見据えている。



配電盤等の製造を通じ日本のインフラを支える

古川工業株式会社は、配電盤、受変電設備などの販売、設計、製造を行う古川電気工業株式会社の製造拠点。分電盤や制御盤の板金、塗装、組立、出荷のほか、配電盤等の板金と塗装を手掛けている。

同社の製品は工場や病院、ビル、官公庁などに納入されており、これらすべて顧客の要望を形にしたフルオーダー。変更要望にも即応する対応力で顧客からの厚い信頼を得ている。

「直接の顧客は電気工事を行うサブコンが中心ですが、当社ではエンドユーザーへの訪問も積極的に展開しています」と語るの代表取締役社長兼製造本部長の茂泉勝弘氏。エンドユーザーへのきめ細かなフォローによってシェア、売上ともに堅調に推移している。

需要拡大に 대응するため生産性向上を図る

最近では関東、関西の案件も数多く手掛けている同社だが、建築工事の短納期化に伴い、配電盤類の製作も短納期が求められる傾向が強い。案件の増加、短納期要求に応える生産効率アップのため、同社では板金の打ち抜き加工に用いるタレットパンチプレスのリプレースを実施。市場の要求に柔軟かつ迅速に対応できる体制を整え、顧客ニーズにマッチした製品の短納期製作を



ボトルネック防止を含め作業工程を大幅に改善

タレットパンチプレスのリプレースによって、加工時間は約20パーセントの削減を実現。新鋭機は高速バリつぶし対応となっており、作業者の作業負担軽減のみならず安全性にも結び付いた。また、加工データを取り込むコンピュータも通信機能を搭載、併せて運用ソフトの改善を図ることで、急な仕様変更にもボタン一つで対応可能にした。



FILE.19

フルオーダーへの高い対応力で全国へ



Q1 会社の強みは何ですか？

A1 品質、コスト、納期のトータル的なバランスの良さです。当社は同業他社に比べ従業員も多く、急な増産などに即応できる対応力も強みです。

Q2 新製品はどんな場所に使われますか？

A2 航空機なら照明カバーやトイレユニット、建材はエレベーターの照明カバーや壁材です。910×1820mmの大型製品に対応可能です。

代表取締役
小山 昭彦 氏

《 信条 》
継続は力なり



FILE.20

不燃透明GFRPで新たな社会基盤を

自動車などの幅広い分野にFRP製品を供給する

株式会社宮城化成はFRP（強化プラスチック）製品の製造・販売を行う。設計・開発から試作・量産までを手掛け、自動車関連の内外装パネルを中心に、仮設トイレやハウス、タンク、機械カバー、船舶、遊具など、様々な分野の製品を世に送り出してきた。

最近では繊維強化プラスチックであるGFRPに不燃・難燃性と透過性を持たせた複合材の開発に成功しており、LEDの光をやらわかく拡散する「エクスビュー」を販売している。

新素材開発で目指す
航空機と建材への進出

すでに鉄道車両用不燃認定を取得している同社製品だが、現在は透明不燃GFRP材の市場形成を図るため、新分野展開に着手。ター

ゲットを航空機と建材の分野に絞り、さらに性能を高めた難燃コンポジット製品の開発を進めている。これらの新分野への進出には、それぞれに不燃認定や難燃・不燃判定規格を満たす必要があり、試験条件の厳しさはさらに増す。

「当社では新製品開発にあたり、実用品質の強化、新参入分野における不燃透明材の不燃認定取得、大型成型品の製造技術の確立、量産プロセス管理技術の確立を目標に掲げ、新規素材実用化を目指し



ました」と、同社代表取締役の小山昭彦氏は語る。

航空機の不燃規格試験に合格して事業化も目前に

透明不燃GFRP材の品質強化にあたっては、表面コート層の改質と強化を実施。新たにアンダーコート剤を採用することで、FRP基剤の含浸樹脂と無機コート層の密着強度を大幅に改善した。また、建材等の大型成型品への対応には、特別仕様で設計した特殊樹脂対応



の専用樹脂注入機を導入。FRP製造に精通したコンサルティングの協力を得ながら量産プロセス管理技術も併せて構築した。「建材分野では不燃材認定試験に申請中です。また、航空機分野では機内機材メーカーの不燃規格試験で合格判定を受けるとともに、認定工場の指定も受けました。すでに引き合いもありますので平成31年には事業化に結び付くでしょう」。

他社にない独自技術で
マーケットを開拓していく

さらに今後は自動車分野への展開を探っていく。



「例えば電気自動車におけるバッテリー回りなど、参入の余地は十分に考えられます」と語る小山氏。競合が極めて少ない不燃GFRP製造技術を武器に、同社は新たな市場を切り開いていく。



株式会社宮城化成

代表取締役 / 小山 昭彦

所在地 / 宮城県栗原市一迫北沢半金沢15-4

TEL / 0228-52-3931

【28年度補正】
Hybrid難燃化技術による
高性能難燃コンポジット製品の開発

事業テーマ



Q1 会社の強みは何ですか？

A1 植物工場事業に必要な野菜生産ノウハウ、工場運営ノウハウ、流通ノウハウのすべてを活かした経営アドバイスが可能なことが強みです。

Q2 工場野菜はどんな場所に流通？

A2 虫などの異物混入がなくサイズが揃っているの
で、洗浄や調理の手間を低減したい総菜や外食など中・外食産業で広く利用されています。

取締役社長
野澤 永光 氏
《 信条 》
ビジネスは誠実に正直に

FILE.21

IoT導入で野菜工場の未来を切り開く

安心・安全な高品質野菜を
天候に左右されず計画生産

LEDを使った人工光型植物工場によって、レタスやバジルなど葉物野菜生産を展開するMIRAI株式会社。植物工場による生産は露地野菜に比べ土地面積あたりの生産性は非常に高く、外気に触れないため農薬不使用で虫などの異物混入もなく安心・安全。天候にも左右されないことから安定した価格と生産量で高品質の野菜を計画生産することができ、会社では長年培った生産ノウハウと運営ノウハウを活かし、野菜の生産販売のほか独自開発の野菜工場設備の販売や事業コンサルティングを手掛け、新たに工場運営コンサルタント事業も展開している。

経営が難しい植物工場事業
環境レシビに磨きをかける

国の後押しもあって多くの事業

者が植物工場事業に参入しているが、一方で工場の管理・運営の難しさや生産コストなど壁も高く、多くの事業者が経営に苦しんでいる状況にある。会社では植物工場のトップランナーとして、野菜の生産販売や野菜工場設備販売を行ってきたが、さらなる生産性の向上と低コスト化を目指し、会社が独自開発した栽培環境レシビのブラッシュアップを図った。



「野菜栽培には約200項目の要因が影響しています。このノウハウをさらに磨き、収益性の向上と植

た、各制御項目の詳細なデータがパソコンでも確認でき、栽培環境の管理や遠隔操作も可能となった。「これまでと同じコストで生産量を大幅に増加することができました。また、このノウハウを活かした新しい植物工場設備の開発も行っています」。

植物工場事業は将来性が高く
海外展開も推進中

生産性の向上による収益の増加を実現した会社では、今回の事業で構築した栽培技術レシビを元に、野菜生産・販売、植物工場装置の販売のほかに新たに植物工場の運営アドバイス及びコンサルティングのサービスを新事業として開始した。野菜生産に厳しい環境にあるロシア



物工場設備販売の加速を目指すためにIoTシステムを導入しました」と取締役社長の野澤永光氏は話す。

野菜栽培環境の見える化と
データ解析で生産性を向上

導入したIoTシステムでは、センサーやカメラなどの計測機器によって得られる測定値を解析ソフトによってリアルタイムに分析。これによって作物ごとの最適な環境レシビを確立することが実現した。ま



アや中東、また近年、生野菜を食す文化が浸透してきた中国などをターゲットに海外展開も推進中である。

MIRAI株式会社

取締役社長 / 野澤 永光

所在地 / 宮城県多賀城市桜木3-4-1みやぎ復興パークF30

TEL / 04-7192-6655(本社)

【27年度補正】
IoTを活用した「儲かる植物工場」を実現する、
多賀城発の生産管理システムの開発



代表取締役
小暮 三十光 氏

《 信条 》
常にお客様ファーストです

Q1 会社の強みは何ですか？

A1 私が商社にいた経験から、極細線については当社製品に限らず技術力のある材料や加工メーカーと組み、お客様のニーズに応える提案ができます。

Q2 御社の極細錫メッキ線の特徴は？

A2 錫カスが少ないので、お客様製造工程で目詰まりによる断線を減らすことができます。また半田濡れ性が良いので接続信頼性を高められます。



FILE.22

独自技術の極細線で最新医療を支える

ニーズに応えた極細線で
最先端機器の開発に貢献

有限会社メカ工業は昭和48年（1973年）に電線設備の製造会社として設立。その後、小型モーターなどに使用されるエナメル線製造を手掛けるが、昭和58年（1983年）からは、その技術力を活かして極細錫メッキ銅線の製造・販売へと転換。2つ折りノットPCや携帯電話が爆発的に普及すると、ヒンジ部の同軸ケーブルに使用する極細線の需要が急増し、大幅な事業拡大へと繋がった。近年では、医療用プローブケーブルやロボット用ケーブルなどを主力に製造を行っている。

軽量化しなやかな

直径0.02ミリの極細線開発

医療の現場ではプローブケーブルのさらなる軽量化としなやかさが求められるようになり、そのためには、中に入る極細同軸ケーブルの

横巻シールド線をさらに細径化させる必要がある。同社で最も細い極細線は直径0.03ミリだったが、求められるのは直径0.02ミリという髪の毛の4分の1の細さであった。

「この細さになると強度が持たずに断線したり、線が硬くなってしまう。軽量化としなやかさを両立させるには強度と屈曲性、可とう性のすべてを向上させる必要があります」と代表取締役の小暮三十光氏。

最大の課題となったのが、極細



線を断線や巻き崩れさせずにボビンに巻き取ることであった。

最大課題を克服

極細線の量産化を実現

直径0.02ミリの極細線の製造は、素材に錫入り銅合金を採用し、さらに独自加工を施すことで解決。また、補助事業を活用することで、同社オリジナルの新たな極細メッキ線巻き取り機の開発導入を行った。「銀メッキを採用すれば解決しやすい課題でしたが、当社では環境にも

コストにも優しい錫メッキにこだわりをもっていますので、錫メッキ線での解決を目指しました」と小暮氏。こうして試行錯誤の結果、安定した微小テンションでボビンに巻き付ける技術と設備を構築し、直径0.02ミリの極細線の量産化を実現した。

様々な産業分野へ進出進化
する先端機器を支える

完成した極細線は超音波診断装置に採用され、増産体制に入っている。リール量も当初の40グラムから70グラムに増やすなど、ユーザーの利便性も向上させた。

「極細線は医療用やロボット用ケーブルのほかにも、ゲーム機、車



載機器センサー、監視カメラなどさまざまなものに利用されます。技術を活かし、人びとの快適な暮らしに貢献していきたいですね」と今後を語る。



有限会社メカ工業

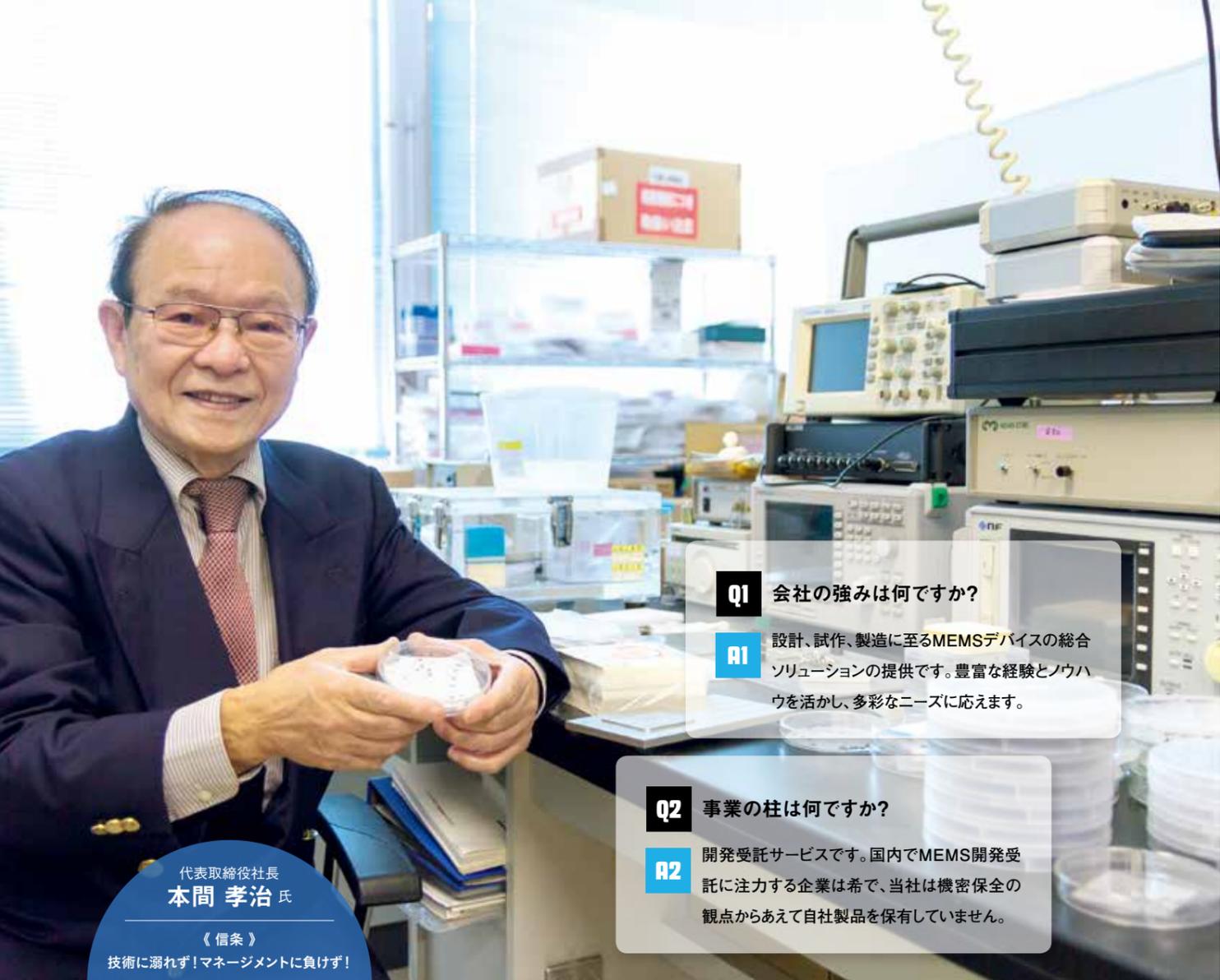
代表取締役 / 小暮 三十光

所在地 / 宮城県栗原市栗駒片子沢外鳥屋9

T E L / 0228-45-1558

【27年度補正】
事業テーマ
極細同軸ケーブル用横巻シールド線の開発





代表取締役社長
本間 孝治 氏

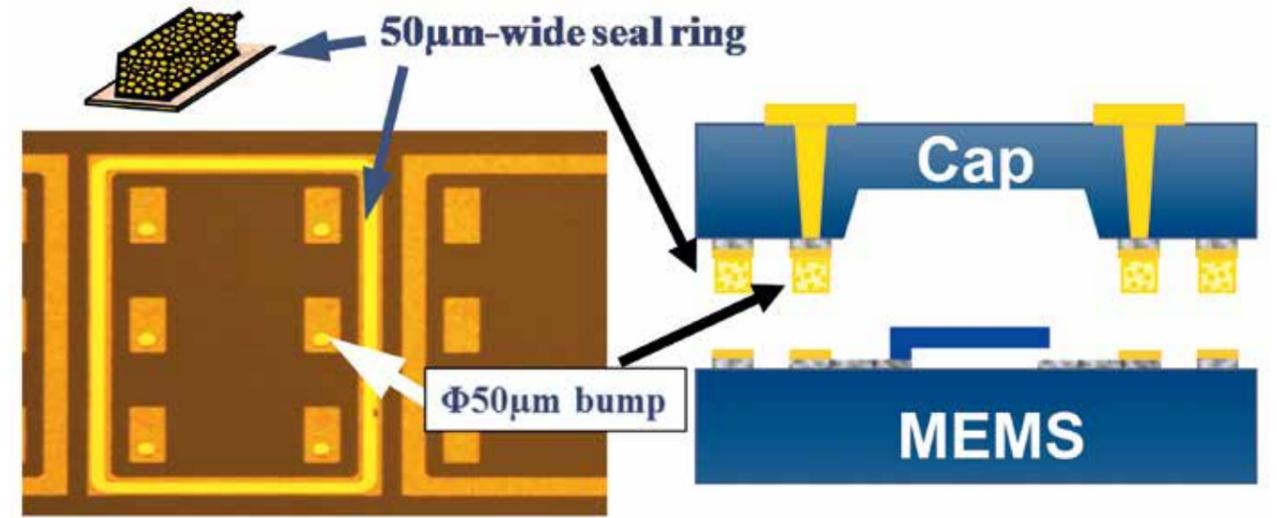
《 信条 》
技術に溺れず！マネージメントに負けず！

Q1 会社の強みは何ですか？

A1 設計、試作、製造に至るMEMSデバイスの総合ソリューションの提供です。豊富な経験とノウハウを活かし、多彩なニーズに応えます。

Q2 事業の柱は何ですか？

A2 開発受託サービスです。国内でMEMS開発受託に注力する企業は希で、当社は機密保全の観点からあえて自社製品を保有していません。



用途:デバイス気密封止、3次元実装

FILE.23

MEMSの新接合技術で未来を拓く

新世代MEMSを創出するものづくり集団

「MEMS」とは、半導体の微細加工技術を駆使して作製された微小な部品から構成される電気機械システム。小型化、省電力化、高機能化、低コスト化に大きく貢献し、医療や電子機器、自動車など、多彩な分野から注目を集めるデバイスだ。

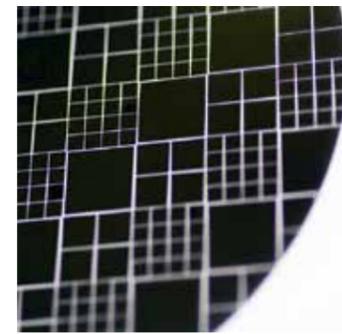
仙台市泉区で事業を展開する株式会社メムス・コアは、東北大学の江刺正喜教授と半導体装置製造会社の協力によって設立され、MEMSの設計・開発、試作及び製造、製造技術開発、開発受託サービスを行っている。

複合的デバイス接合の新技术を構築する

MEMS分野における次代のニーズについて、代表取締役社長の本間孝治氏は次のように語る。

「MEMSには、従来の単機能デバイスに代わり、3次元構造や異種材料同士の接合といった複合的デバイスが登場している。これらの新デバイス製造には低温プロセスが要求されるケースが多く、これまで350〜500度程度で使われてきた接合材料が使用できない可能性が予見されています」。

そこで、当社では産業用貴金属製品製造会社が開発した微細金粒子を用いた低温接合プロセス技術の移管を受け、現在注目されている

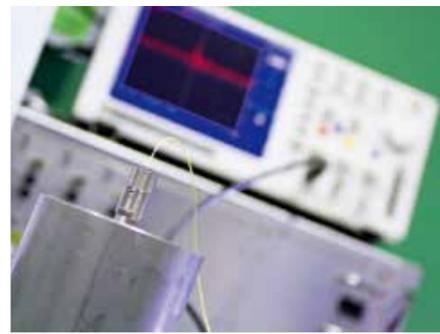


この過程においては微細パターン形成に加えて無塵環境が求められるため、当社では半導体用顕微鏡のほか、クリーンブース用フィルタユニット等を導入した。

「低温MEMS接合は150度程度の温度環境下で行われます。従来の成膜プロセスによるパターン形成と比べて材料ロスが少なく、電気的接続と気密封止を一度に行うことができ、実装コストの低下にも結び付くというメリットがあります」。

得られた成果を新たな事業の柱に成長させる

MEMSデバイス開発ビジネスに、「金粒子による接合・封じサービス」を加えることにより、事業拡大を目指す同社。さらには「コンピュー



CMOS、LSIとの融合と、3次元実装ビジネスの展開を目指した。

実装コストの削減に結び付くメリットも

同社の低温MEMS接合は、ガラスウエハー上にサブミクロン金粒子を封じ枠や電極などの微細パターンとして形成し、パターン転写基盤として利用する。そして、転写プロセスではウエハー同士を貼り合わせてデバイスを製造するというものだ。



タをはじめとする電子機器の微細化に大きく貢献するLSI等の「3次元実装サービス」への進出も視野に入れている。

株式会社メムス・コア

代表取締役社長 / 本間 孝治

所在地 / 宮城県仙台市泉区明通3-11-1

TEL / 022-777-8717

【25年度補正】
サブミクロン金粒子を用いた
低温MEMS接合ビジネスの展開

事業テーマ



Q1 会社の強みは何ですか？

A1 開発から金型製作、部品製造、塗装、レーザー加工など完成までの一貫生産が可能です。開発から納品まで短期間・低コストで対応します。

Q2 24時間稼働のメリットは？

A2 24時間無人稼働を行うことでコスト面で勝負できるようになり、最大の障壁である「モノはいいが高い」というイメージを払拭しました。

代表取締役社長
菱沼厚氏

《信条》

感謝の心で仕事に取り組むこと

FILE.24

最先端加工機で日本のものづくりを変える



高品質・短納期・低コスト
ニーズに一貫生産で応える

昭和47年（1972）に電子機器製造会社を色麻町に創業したヤマセ電気株式会社。時代のニーズを受けて業務を拡大し、現在、宮城県内4社6工場のグループ会社として事業を展開している。事業内容は企画開発から、設計・試作・製造まで製造全般を一貫生産できる体制が整っていることが特徴だ。

「品質は当然。一貫生産により納期・低コストでお役に立つことをモットーに事業を展開しています」と代表取締役社長の菱沼厚氏は強みを語る。

頻繁な仕様変更と部品改良
に納期短縮・精度向上で対応

美里工場では自動車用車載部品の金型製造を中心に製造しているが、近年、デザイン変更や部品の改良が頻繁に行われるようになった

ため、納期短縮や加工技術のさらなる向上が求められるようになっていく状況にある。

金属切削には様々な手法があるが、精巧に切り出すにはワイヤー放電加工が最も適している。ワイヤー放電加工は、高電圧を掛けた細いワイヤーと加工物の間にアーク放電を発生させて切断加工を行うというもの。通電する金属であれば、硬さに関わらず精密に加工することが可能だ。

今回の事業では最先端のワイヤー放電加工機を導入することで、



さらなる精度向上とリードタイム短縮を目指した。

最先端マシン導入により
求められる課題を解消

導入した最先端のワイヤー放電加工機では、電極ワイヤーの直径が従来の0.2ミリから0.05ミリとなるため、さらなる細密加工が可能となった。また、切断面が滑らかで精度が高いため、その後の仕上げ作業時間が2分の1に大幅に削減。さらにリニアモーター駆動を採用するなど、加工時間自体も2分

の1に短縮している。「ワイヤー放電加工で厚物金属を加工する場合、ワイヤーのたわみによって加工精度が損なわれてしまうという問題がありました。テストと改良を繰り返し、こちらも従来の5マイクロから2マイクロ以内へと精度向上を実現しています」。

クオリティと低コストの両立で
メイドインジャパンの復権を

自動車関連部品をはじめさまざまな部品製造工場がアジアを中心とした海外へ移転を進めてから久しい。だが、ものづくり日本としての高品質製品製造は、低コスト化、短納期化を実現することで、近年、生産工場の国内回帰が見直されつつある。

「今回の最先端設備の導入によ



て、国内生産回帰への流れにさらに貢献したいと思えます」と菱沼氏は抱負を語る。



Yamase ヤマセ電気株式会社 美里工場

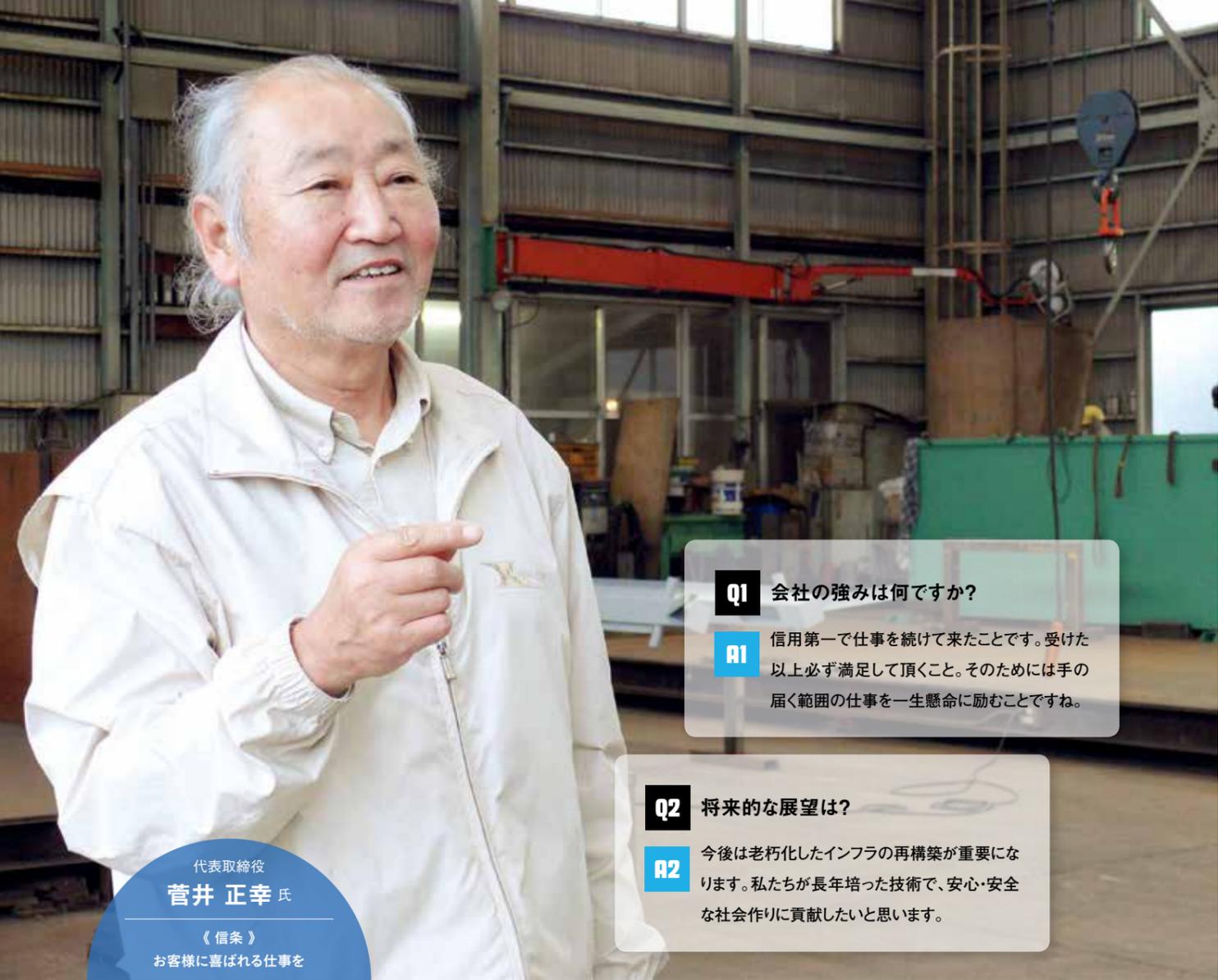
代表取締役社長 / 菱沼厚

所在地 / 宮城県遠田郡美里町青生字柳原80

T E L / 0229-32-5663

【24年度補正】
最先端ワイヤー放電加工機による金型加工時間の短縮及び新規顧客の取り込み強化

事業テーマ



代表取締役
菅井 正幸 氏
《信条》
お客様に喜ばれる仕事を

Q1 会社の強みは何ですか？

A1 信用第一で仕事を続けて来たことです。受けた以上必ず満足して頂くこと。そのためには手の届く範囲の仕事を一生懸命に励むことですね。

Q2 将来的な展望は？

A2 今後は老朽化したインフラの再構築が重要になります。私たちが長年培った技術で、安心・安全な社会作りにも貢献したいと思っています。



FILE.25

鋼板加工で地域の安心安全に貢献

積み重ねた技術と信頼で幅広い製造設備に対応

昭和42年（1967年）創業の株式会社矢本製作所。鉄やステンレスなどの鋼板加工を主力の業務とし、火力・原子力発電所や各製造工場等の設備機器類、配管・ボイラー機器等の製作・据え付け、トンネル掘削機の製作、土止用鋼矢板製作など幅広い業務に対応している。東日本大震災では、海岸部に近い工場が大きな被害を受けた。

「4カ月の操業停止になり、事業が軌道に乗るまで1年近く掛かりました。その後の復興需要で息を吹き返した感じですね」と代表取締役の菅井正幸氏は当時を振り返る。

震災復興需要の増大と高度化するニーズに対応

現在、同社の主力製品となってきているのが、主に防潮堤構築の際に

使用する土止用の鋼矢板だ。

東日本大震災以後、沿岸部各地での防潮堤の整備が推進されたことにより、土止用鋼矢板の大きな需要が発生していた。しかし、その一方で従来の加工設備では時間と人手が掛かり大きな負担も生じていた。

また、近年の安全性強化と長寿命化のニーズにより、高硬度材の加工技術の向上が求められつつある。さらに従来の穴開け加工は切削油を給油しながらの作業であり、付



着した油を拭き取る布が産業廃棄物となる問題もあった。

独自のYS工法確立で生産性の大幅向上を実現

課題解決のために同社が導入したのが、自動パンチ加工機である。オリジナル仕様にカスタムした自動パンチ加工機によって新たに「YS工法」を開発。これまでの加工作業では作業員の練度が影響していたが、YS工法の開発によって高精度で安定した加工が可能となった。



従来は材料の寸法入れから加工仕上げ、製品仕様書との照合に2〜3名で6日程度必要だったが、YS工法により1名体制で1〜2日での作業完了となっている。また、環境への負荷低減も実現したことで、高精度・短納期・エコといった当初の課題をすべてクリアしている。

安定受注を目指すとともに設備投資による業務拡大を

精度の高い製品の短納期化を実現した同社だが、沿岸部での需要増大によって対処しきれない現状もでてきた。

「納期を守るために一部を外部にお願いする事態にもなっています」と菅井氏。YS工法を利用した他製品への進出も検討中だが、まずは



株式会社矢本製作所

代表取締役 / 菅井 正幸

所在地 / 宮城県東松島市大曲字壇の内南30-18

T E L / 0225-82-2281

【28年度補正】
高精度、長寿命、低コスト化を実現する鋼矢板「YS工法」の開発



安定した受注を獲得した上でさらなる設備投資によって生産能力を強化し、事業拡大を目指したいと話す。

NO	申請者名称	事業計画名	認定支援機関名
38	株式会社スクリブル・デザイン	自社開発OSと携帯端末を有効活用した建設機械無線メンテナンスシステムの構築及び試作開発	公益財団法人みやぎ産業振興機構
39	東社シーテック株式会社	飲料水メーカー向け「後付け可能かつ低コスト」なホットメルト検査装置の試作開発	日向雅之税理士事務所
40	合名会社寒梅酒造	JAS認定有機栽培ゆずと自社清酒を使用した日本酒リキュールの開発	株式会社七十七銀行
41	コミュニケーションリンク株式会社	高級食材の製造を可能とする乾燥装置の開発と乾燥加工品の販売	公認会計士・税理士田中吉徳事務所
42	本田精機株式会社	高機能粉末材料製造のための粉末処理高度化技術の研究開発	中央総合税理士法人
43	弘進ゴム株式会社	複合ゴムブロックを配置した新しい靴底パターンを有する超耐滑安全靴の開発・事業化	公益財団法人みやぎ産業振興機構
44	東北セラミック株式会社	多層熱電デバイスの試作開発	公益財団法人みやぎ産業振興機構
45	プラスエンジニアリング株式会社	金型部品向け高精度異径細長ピン加工工法改善による工程短縮化	日下部公認会計士事務所
46	株式会社ジェー・シー・アイ	逆進防止機能ならびに着座時後進防止機能内蔵車輪の試作開発	有坂信彦税理士事務所
47	株式会社相澤製作所	変圧器の金属プレス部品、低価格化のニーズに応える加工技術開発	商工中金
48	有限会社上戸製作所	医療バイオ・航空機・自動車産業の高付加価値部品の試作及び仕上げ加工法の開発	株式会社七十七銀行
49	テクノウイング株式会社	タブレット端末を使った地域密着型企業向け次世代型ポイントカードシステムの試作開発	公益財団法人みやぎ産業振興機構
50	株式会社コスモスウェブ	多機能・小型・低コスト、の卓上ロボット用モーションコントローラの開発	株式会社山形銀行
51	八州電工株式会社	粉体塗装機及び焼付乾燥設備導入による焼付塗装製品の短納期化、低コスト化の実現	商工中金
52	株式会社ケディカ	超抗菌ニッケルめっきの事業化	旭日税理士法人
53	ヤグチ電子工業株式会社	スマートフォン接続型モバイル糖度センサーの開発	石巻商工信用組合
54	株式会社タカシン	複合加工機導入による高精度化・低コスト化を実現し医療・航空機産業への参入を目指す。	公益財団法人みやぎ産業振興機構
55	岩機ダイカスト工業株式会社	3Dスキャナ導入による短納期実現で、国際競争力アップを目指す	株式会社七十七銀行
56	株式会社ヤマウチ	未活用資源活用による新しい機能性食品づくり	南三陸商工会
57	株式会社プロスパイン	耐振型圧力計の非接触回転指針部の開発	大崎商工会
58	協栄エンジニアリング株式会社	工程改良に資する加工品計測システムの開発	城南信用金庫
59	株式会社平季酒造	ステンレスパネルを利用した新発酵技術による商品開発	株式会社七十七銀行
60	株式会社東北田村工機	設備導入による木型製造に係わる生産性向上と技術の高度化	株式会社仙台銀行
61	日進工具株式会社	レーザー加工によるダイヤモンド製回転切削工具の開発、および加工技術構築	くろかわ商工会
62	株式会社シマ精工	切削加工技術の拡充と短納期化に対応するための設備導入・高精度化試作	株式会社七十七銀行
63	株式会社イデアールスター	フレキシブル有機薄膜太陽電池の作製試作	株式会社七十七銀行
64	株式会社ホクトコーポレーション	ストーンシートへの水なし印刷技術を用いた環境印刷開発事業	株式会社高崎総合コンサルタンツ
65	東北パイプターン工業株式会社	新エネルギーに対応する配管継手の開発事業	東松島市商工会
66	株式会社鎌田製作所	「ヒーターチップ」の試作開発と生産プロセス強化による競争力強化	株式会社仙台銀行
67	株式会社創恵	高硬度(熱処理後)大型丸物加工に対する精密旋盤加工技術の確立	名取市商工会
68	大研工業株式会社	超硬度鋼、高硬度鋼への直彫り加工方法の開発	株式会社七十七銀行
69	千田酒造株式会社	原料処理作業の正確化及び効率化を図る設備の導入と研究による付加価値・競争力の向上	株式会社七十七銀行
70	三丸化学株式会社	環境負荷低減プロセスを用いたリサイクルシステムの試作開発	株式会社七十七銀行
71	新光電子株式会社	津波などの波面異常計測用24GHzレーダー式波高測距モジュールの開発	NPO法人未来産業創造おおさき
72	株式会社カネキ吉田商店	冷凍生ウニの製品化及び鮑の高級調理品の開発、製造に関する事業	南三陸商工会
73	株式会社3Dインベーション	マルチビーム型光波距離計による大型精密部品の高速計測に関する試作開発	公益財団法人みやぎ産業振興機構
74	北光エンジニアリング株式会社	大型化・高精度化する自動車部品用金型等の製作用力強化	公益財団法人みやぎ産業振興機構
75	株式会社聖人掘鐵工所	海外まき網船用軽合金製搭載艇の作業効率改善の為の開発	石巻商工信用組合
76	萩野酒造株式会社	ワインを好む有職女性に向けた、新しい味わいの日本酒の研究・開発	株式会社七十七銀行
77	匠ソリューションズ株式会社	小型掌紋認証システム端末の試作製品開発及びテスト販売	株式会社七十七銀行
78	株式会社アルコム	マイクロ研削盤による精密樹脂金型部品の製造新加工法開発事業	株式会社七十七銀行

P34

「平成24年度補正 ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金」採択企業一覧

NO	申請者名称	事業計画名	認定支援機関名
1	株式会社プラモール精工	超精密ガストース製法プロセスの確立	株式会社仙台銀行
2	加美電子工業株式会社	高圧噴霧ノズルの試作開発及びテスト販売	加美商工会
3	株式会社岩沼精工	パターンプレコート金属ストリップのプレス加工の試作開発	公益財団法人みやぎ産業振興機構
4	引地精工株式会社	曲面・鏡面用外観検査ロボットの標準化組み込みソフトの開発	公益財団法人みやぎ産業振興機構
5	東洋機械株式会社	鉄道用特殊車両のハイブリッド駆動装置開発(セーフティハイブリッドシステム)	公益財団法人みやぎ産業振興機構
6	シンワ電装株式会社	「3Dプリント技術を用いる樹脂部品製造設備」の導入、製造技術確立による電子機器設計試作サービスの付加価値・競争力向上	仙北信用組合
7	株式会社堀尾製作所	バーコードシステム導入による生産管理の高度化と多品種少量生産および短納期化実現計画	株式会社七十七銀行
8	東北電子産業株式会社	可搬型プローブ式振動粘度計の開発、商品化	公益財団法人みやぎ産業振興機構
9	共伸プラスチック株式会社	「ウエルドラインの発生しない塗装レス高品位樹脂成形品の量産製造を実現できる世界初のゲート圧縮カット複合成形法の開発」	公益財団法人みやぎ産業振興機構
10	明治合成株式会社	ダイレクト加飾システムによる特注部品対応	株式会社七十七銀行
11	株式会社邦友	起立補助装置の開発	公益財団法人みやぎ産業振興機構
12	東研工業株式会社	広軌高速鉄道用の画像処理等を利用した高精度軌道検測器の試作品開発	公益財団法人みやぎ産業振興機構
13	株式会社島茂商店	鉄道用分岐ゲージの量産化技術確立	公益財団法人みやぎ産業振興機構
14	株式会社ティ・ディ・シー	長尺フープ状金属箔超精密鏡面加工量産対応設備の開発	公益財団法人みやぎ産業振興機構
15	ゼライス株式会社	再生医療向け低反発性ゼラチンスポンジの開発	株式会社七十七銀行
16	株式会社コスモス	ゴム製品のプレス加工及びカーボンフェザーのプレス加工に関する技術開発	株式会社七十七銀行
17	株式会社藤田鉄工所	部品製作高度化事業	株式会社七十七銀行
18	株式会社ソーリンク	画像センターとサーボモータを使用する高精度位置決め技術を付加した「貼付装置」・「塗布装置」の拡販	株式会社七十七銀行
19	株式会社エヌエス機器	複雑形状(曲面、多面体)の研磨装置・開発と加工販売	公認会計士・税理士田中吉徳事務所
20	株式会社ウチダ	車載リレー用コア部品の低価格化を実現するプレス加工技術開発	株式会社七十七銀行
21	凌和電子株式会社	プラスチック成形品生産工程における静電気発生位置検出装置の試作開発	株式会社七十七銀行
22	株式会社エムジー	大地震による高層ビルの長周期地震動による揺れに対応した制震キャストの開発	株式会社七十七銀行
23	株式会社ホンテック	アルミガイドロールの加工時間短縮を目的とした円筒研削加工の研究開発	中央総合税理士法人
24	株式会社新澤醸造店	未利用資源の果汁化とそれに伴うリキュール類・ジュース類の製造開発	大崎商工会
25	バイスリープロジェクト株式会社	画像処理組込みソフトを用いた汎用表面欠陥検査装置の開発	公益財団法人みやぎ産業振興機構
26	ヤマカノ醸造株式会社	豆乳を原料とする新規な低塩・高旨味調味料の製造	株式会社七十七銀行
27	ヤマセ電気株式会社	最先端ワイヤー放電加工機による金型加工時間の短縮及び新規顧客の取り込み強化	株式会社七十七銀行
28	株式会社北光	バスバー(金属端子)への電子部品実装のプロセス構築	栗原南部商工会
29	テセラ・テクノロジー株式会社	露地栽培および施設栽培に最適な環境センサを活用したスマートアグリシステムの開発	株式会社七十七銀行
30	株式会社マグファイン	プローブに塗装する絶縁塗膜の加工し易い塗料の開発	株式会社七十七銀行
31	株式会社日進エンジニアリング	エンドミル(切削工具)向け新コーティングの開発	株式会社七十七銀行
32	トライボッドワークス株式会社	中小病院向け医療画像データ長期保管用機器の試作開発	株式会社東邦銀行
33	東北オータス株式会社	飲料自販機での買物時にスマートホンのポイントカードとして利用できる機器の試作開発事業	公益財団法人みやぎ産業振興機構
34	太子食品工業株式会社	新たな微生物利用技術の開発による、生産合理性を有する健康志向型大豆食品の開発	東北大学大学院経済研究科
35	株式会社フォトニックラティス	半導体検査装置用深紫外線偏光子の事業化	公益財団法人みやぎ産業振興機構
36	株式会社エクシオン	車載型生体情報通信プロセッサの試作開発	公益財団法人みやぎ産業振興機構
37	ケー・エス・ケー株式会社	住宅産業界が抱える課題解決に向けた発泡断熱材製品加工ラインのプロセス強化について	株式会社東邦銀行

P30

P56

NO	申請者名称	事業計画名	認定支援機関名
28	シネジック株式会社	大型木造建築用の構造用長大ビスの開発	株式会社マイルストーン・コンサルティング・グループ
29	有限会社高橋シンク製作所	厨房スペースを有効活用する自動食洗機能付マルチシンクの開発	名取市商工会
30	株式会社マルチカ	既存事業の強みを活かした総合的な活魚販売システムの新規構築事業	女川町商工会
31	株式会社テクスアート	ローコストハウスメーカーに対するオーダーカーテンの新規販売展開事業	多賀城・七ヶ浜商工会
32	有限会社佐藤パッケージ	小規模事業者のニーズに対応したオリジナル寸法の紙器製造販売	公認会計士・税理士田中吉徳事務所
33	明治合成株式会社	直彫り金型技術導入による自動車向け樹脂成形品の短期生産体制強化	NPO法人未来産業創造おおさき
34	フジ技研工業株式会社	低コスト・省スペースを実現する、厨房・バックヤード向け小型解凍機の試作開発	加藤幸蔵税理士事務所
35	株式会社米貞商店	最新型切身機械の導入による製品の付加価値の向上と販路拡大	商工中金
36	光洋精機株式会社	鋳造シミュレーション導入によるアルミ鋳物開発のコスト・納期削減	商工中金
37	株式会社泰栄産業	次世代型丸鋸製材機械の顧客仕様を合せた刃物の試作開発	株式会社七十七銀行
38	横江コンクリート株式会社	「少量多品種、および短期納期対応を目指した現場打ちコンクリート構造物の工場製品化事業」	株式会社七十七銀行
39	有限会社サイトウ水門	屋外用銅板製品等の耐久性向上技術の高度化	株式会社七十七銀行
40	ワイケイ水産株式会社	三陸産水産物の保存性向上技術とファストフィッシュ商品の開発	女川町商工会
41	株式会社ユーテクノロジー	医療用・内視鏡用革新的高出力LED光源	株式会社埼玉りそな銀行
42	株式会社黄海製本	高精度化・短期納期化を実現する高性能断裁機の導入	税理士法人大藤会計事務所
43	合名会社川敬商店	酒造り工程の重要なポイントである「上槽」の品質向上計画	株式会社七十七銀行
44	加美電子工業株式会社	高塗着効率塗装ヘッドの開発	加美商工会
45	庄司電気株式会社	工業用硬化性樹脂製品の電動射出成形機と金型改良によるバリレス成形の試作開発	株式会社横浜銀行
46	株式会社くりこまくんえん	製材工場等の産業廃棄物から木質ペレットを製造し、バイオマス燃料化する事業	栗駒郷沢商工会
47	第一ガスケツ工業株式会社	設備投資による究極のエコカー（燃料電池自動車）部品の生産プロセス強化と品質精度能力向上	草加商工会議所
48	株式会社サスティナライフ森の家	宮城県産の間伐材を活用した家具・調度品の製造・販売	日高見税理士法人
49	小糸樹脂株式会社	創業50年間、培われたエンブラ加工技術を活用し、難切削材及び非鉄金属加工を新規加工技術として確立する。	公益財団法人みやぎ産業振興機構
50	株式会社高松鉄工所	小型底曳網漁船における省力化のための捲取りウインチ大型化に対応する旋盤設備導入	株式会社七十七銀行
51	株式会社東北ティ・エム・エス	超薄型モバイル機器用金型パーツの開発	株式会社七十七銀行
52	株式会社サイトウ社	濃度計の自動制御によるカラーマネジメントの確立	株式会社高崎総合コンサルタンツ
53	株式会社宮城化成	GFRPへの粘土膜コーティングによる鉄道車両向け不燃照明カバーの試作開発	公益財団法人みやぎ産業振興機構
54	株式会社石渡商店	三陸海岸の農水産物の組合せによる高付加価値パウダーの開発	株式会社七十七銀行
55	石川電装株式会社	船舶弱電技術部門の新構築による統合的デジタル新電装サービス	気仙沼信用金庫
56	株式会社デジタルブレイス	”どこでもMyBOOK”商品の試作開発・販路拡大等の設備投資事業(Web環境とオリジナルアプリケーションを活用し、データ出力(写真画像・図面データ)、各種製本の製作)	石巻信用金庫
57	東北三吉工業株式会社	長尺材高精度曲げ加工の実現による樹脂サッシ窓扉用補強連結材の開発	株式会社七十七銀行
58	東邦メッキ株式会社	高品質且つ多量生産を目的とした自動車向け燃料圧センサー用部品の表面処理技術の開発	村田町商工会
59	東北プレス工業株式会社	プレス技術の応用による、高品質・小型の揚げかす搾り機の製作	株式会社七十七銀行
60	株式会社RDVシステムズ	無人作業を可能とする機密処理装置の開発と機密処理サービス市場拡大に係る事業	株式会社仙台銀行
61	有限会社浅野植生工業	人工張芝製造工程の効率化及び安定化による高付加価値張芝製品の供給事業	栗駒郷沢商工会
62	株式会社ホクショウ	ヤード排水の油水分離技術改善による周辺住民と調和した再生資源リサイクル事業の確立	白河信用金庫
63	有限会社ナガイ	高品質フレキブルコンテナの開発と製造	株式会社七十七銀行
64	雪ヶ谷精密工業株式会社	耳鼻科用治療椅子のワイヤレス化によるリスク低減のための試作	株式会社東北銀行
65	有限会社メガ製作所	複雑形状部品の段取り替え無し加工方法の開発	石巻商工信用組合
66	ザオー電子株式会社	X線検査装置導入による医療用電子機器向け電子基板実装における製造プロセスの確立	株式会社七十七銀行
67	株式会社岩沼精工	高速薄膜金属プレス技術による「メタルドーム」の試作開発	公益財団法人みやぎ産業振興機構

P32

P36

P46

NO	申請者名称	事業計画名	認定支援機関名
79	古川工業株式会社	タレットパンチプレスの導入によるコスト低減並びに生産性の向上	株式会社七十七銀行
80	株式会社折居技研	超精密加工機、超切削工具を活用し微細マイクロレンズアレイ試作品開発	株式会社七十七銀行
81	株式会社放電	モールド金型部品及び、自動機部品製作時の低コスト・短期納期化の実現	株式会社七十七銀行
82	株式会社玉川製作所	超電導コイル用精密位置決め付自動巻線機の開発	株式会社きらやか銀行
83	株式会社ナカトガワ技研	短期納期対応のための設備投資及び標準部金型(半製品化)の試作開発	公認会計士・税理士田中吉徳事務所
84	株式会社オオマチワールド	ユニットハウス塗装工程における大型乾燥ブースの開発	公益財団法人みやぎ産業振興機構
85	株式会社タカジョー	軟硝種材サブミクロン高精度レンズの開発および一貫生産体制の構築	株式会社エフピー・ワンコンサルティング
86	東北三吉工業株式会社	ステンレス薄板のスポット溶接技術の開発による品質と生産力の向上	公益財団法人みやぎ産業振興機構

※事業中止案件を除く ※採択一覧は、以下の理由により採択公表時のものと異なります

・企業名等が採択時から変更された事業者(名称変更等)については、変更後の名称で掲載しております ・採択後に辞退等があった案件については、一覧から除いております

「平成25年度補正 中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業」採択企業一覧

NO	申請者名称	事業計画名	認定支援機関名
1	合名会社寒梅酒造	高品質な清酒提供と短期・小ロット対応を両立する製造体制確立	株式会社七十七銀行
2	株式会社高橋工業	海面養殖漁業者向けのアルミ小型漁船の実用化開発	公認会計士・税理士田中吉徳事務所
3	阿部勘造株式会社	新しい充填ラインによる商品の高品質化と製造効率の向上	社の都信用金庫
4	今野梱包株式会社	強化ダンボールの設計・組立・造形技術を活用したフルオーダー型段ボールクラフトキットの製造、組み立て支援事業の設備導入	石巻信用金庫
5	エーケー株式会社	キャビテーション装置等研究開発用装置製作における内製化・納期短縮の実現	公益財団法人みやぎ産業振興機構
6	合資会社内ヶ崎酒造店	吟醸酒・純米酒を使った二年氷点下熟成酒の開発、販売、及び海外輸出計画	株式会社七十七銀行
7	関南商事株式会社	宮城県産農産物を用いた冷菓(アイスクリーム)製造技術の革新事業	名取市商工会
8	墨通江酒造株式会社	国内外市場獲得拡大を目指し、低温管理技術による高品質・高付加価値商品の開発	商工中金
9	ワールドメタル株式会社	高分離能小型家電破砕設備導入によるレアメタルなどの分離回収事業	株式会社七十七銀行
10	株式会社IFG	高温超伝導体を用いたリハビリテーション用磁気刺激コイルの開発	商工中金
11	株式会社鈴勇商店	バラ再生原料の物流効率改善による高付加価値化事業	石巻かほく商工会
12	サイエンス・テクノロジー株式会社	液中気泡内マイクロ波励起プラズマを用いた低温・高速浄化装置の開発	株式会社七十七銀行
13	マルアラ株式会社及川商店	三陸産帆立貝、たこ、牡蠣などの海産物を活用した栄養価の高い機能性食品の試作開発	南三陸商工会
14	株式会社キノックス	キノコ菌床栽培における除染材の開発	株式会社七十七銀行
15	アクト・サイエンス株式会社	携帯型の簡易真空補聴器乾燥機の開発	株式会社七十七銀行
16	株式会社真壁技研	鋳造アルミ合金用結晶粒微細化剤の事業化に向けた試作開発	税理士法人植松会計事務所
17	エコロ・プラント株式会社	高強度大型FRPタンク及びパイプのFW方式による連続自動化生産システムの開発	税理士法人トゥルーアイ
18	株式会社アークコーポレーション	高齢者の輝く容姿と認知症予防/自分史を提供する訪問理美容事業	株式会社七十七銀行
19	株式会社エステー	送電網敷設における大型ウインチの作業能力向上のための開発	石巻商工信用組合
20	合同会社猪又屋	未利用の三陸産荻わかめを使用した一次加工および商品開発事業	日高見税理士法人
21	有限会社大沼酒造店	商品開発のための分析システム導入と急冷による酒質の向上	株式会社七十七銀行
22	株式会社桜精密	内視鏡製造金型の特許治具の一貫製作を目的とした体制の構築と精密加工技術の確立	公益財団法人みやぎ産業振興機構
23	有限会社加藤ステンレス	人工電巻内蔵型高性能排気装置と局所排気ノズル開発	社の都信用金庫
24	株式会社福田商会	被災農地復興に寄与する国産飼料米を利用した6次産業化ビジネス	商工中金
25	株式会社エムジー	次世代自動車向け高精度車載用回転角度センサーの品質強化事業	商工中金
26	東和化成株式会社	ナノファイバー不織布を使用した、小ロット、多品種、高機能マスクの開発	株式会社七十七銀行
27	株式会社ゼンケン	クレーム対応教育及びプロによるクレーム相談窓口提供の実施	ユナイテッドアドバイザー税理士法人

NO	申請者名称	事業計画名	認定支援機関名
107	株式会社ナスキー	最新の環境対応型砕石工法の導入による、地盤改良サービス事業への参入	株式会社山形銀行
108	マリンプロ株式会社	ホヤの殻等の海産産業廃棄物を有効利用した食品素材・調味料の開発・商品化	株式会社七十七銀行
109	株式会社ファミリア	被災地域資源を活用した備蓄栄養補給食品の開発事業	多賀城・七ヶ浜商工会
110	株式会社放電	高速ミーリング加工法による高品位加工技術・複合加工技術の開発	株式会社七十七銀行
111	株式会社AI・DEA	イチゴの年間生産を実現する「AiShellプラント」の開発、販売	株式会社仙台銀行
112	ヤグチ電子工業株式会社	環境・人間工学的性能に優れたスマートフォン連携型フレキシブル有機EL照明の開発	石巻商工信用組合
113	株式会社Takram	環境・人間工学的性能に優れたスマートフォン連携型フレキシブル有機EL照明の開発	石巻商工信用組合
114	大研工業株式会社	航空機用異形部品3D形状測定専用治具の高精度高効率加工技術確立	株式会社七十七銀行
115	株式会社マルニシ	「三陸・宮城発」鮮やかな緑色の昆布加工品の開発	商工中金
116	常盤化工株式会社	高品質な印刷レトルトパウチの短納期・小ロットでの製造・納品体制の確立	菊池裕輝税理士事務所
117	井ヶ田製茶株式会社	地元産葉を使用した健康茶(ブレンド茶)開発による茶の新分野開拓	株式会社七十七銀行
118	株式会社大平昆布	三陸産昆布の加工処理工程の革新による販路拡大事業	株式会社七十七銀行
119	ヤマセ電気株式会社	熱可塑性炭素繊維複合不織布材料での電子機器筐体加工の量産化	株式会社七十七銀行
120	デンソー工業株式会社	ワイヤーホルダー、ハーネスホルダーを活用したレポートリー拡大	株式会社七十七銀行
121	株式会社宮城総合給食センター	長期間常温保存を可能とする製品開発と製造能力拡張への取り組み	株式会社北日本銀行

※事業中止案件を除く ※採択一覧は、以下の理由により採択公表時のものと異なります
 ・企業名等が採択時から変更された事業者(名称変更等)については、変更後の名称で掲載しております ・採択後に辞退等があった案件については、一覧から除いております

「平成26年度補正 ものづくり・商業・サービス革新補助金」採択企業一覧

NO	申請者名称	事業計画名	認定支援機関名
1	株式会社モードクリハラ	MADE IN JAPANニットメーカーの生き残りかけた最新コンピュータ編機、最新のデザインシステムの導入	栗原南部商工会
2	キョーユー株式会社	内視鏡用小型高精度組立機器における精度向上と品質保証体制の確立	商工中金
3	合名会社寒梅酒造	全原材料当蔵産物を使用した高精白スパークリング清酒の試作開発	株式会社七十七銀行
4	株式会社マグファイン	外科手術電気メスの低コスト絶縁塗料、製造プロセスの開発	公益財団法人みやぎ産業振興機構
5	株式会社山和酒造店	宮城県産ササニシキを原料とした低価格・高品質大吟醸の開発	株式会社七十七銀行
6	本田精機株式会社	産業ロール用ADサファイアコート処理装置実用型試作機の開発	中央総合税理士法人
7	株式会社岩沼精工	新工法によるガラス研削用「長寿命化ダイヤモンド電着砥石」の試作開発	公益財団法人みやぎ産業振興機構
8	株式会社メイジ	精密抜き加工品の加工精度向上と生産性向上による高品質保証の実現	商工中金
9	株式会社服部	餃子の旨みを高密度にする新製法による高付加価値餃子の開発	仙北信用組合
10	有限会社丸道タイヤ商会	地域を支える輸送トラックへの新塗装マッピングサービスの提供事業	石巻商工信用組合
11	株式会社ホンテック	マイクロスコープによるロール表面の品質評価法の構築	中央総合税理士法人
12	株式会社富士精密	複合加工機導入による、医療機器分野への進出と高効率生産の実施	公益財団法人みやぎ産業振興機構
13	加美電子工業株式会社	多種超臨界CO2塗装用塗料開発と塗装プロセスの最適化	公益財団法人みやぎ産業振興機構
14	プラスエンジニアリング株式会社	超音波加工条件の確立による難削材精密部品の内製化と販売拡大	公益財団法人みやぎ産業振興機構
15	株式会社高彩堂	金券及び商品券等の印刷物にかかる、偽造防止加工技術開発	東松島市商工会
16	三基東日本株式会社	時代の流れに夢を乗せる!NC技術データ一元化パネル製造計画	株式会社足利銀行
17	エイムカワ株式会社	レトルトパウチ食品製造による既存ユーザーへの拡販及び新規顧客の開拓事業	株式会社七十七銀行
18	有限会社サトウシステムデザイン	次世代型 無振動部品供給装置の開発	株式会社七十七銀行
19	合名会社川敬商店	高精度の成分分析と、旨味を最大限に活かした高品質な酒造り計画	株式会社七十七銀行
20	株式会社アプト	産業機械、自動車産業に活用可能な超音波切削加工による摩擦抵抗低減技術の確立	NPO法人未来産業創造おおさき

NO	申請者名称	事業計画名	認定支援機関名
68	有限会社伊藤鐵工	一般製材の集成材を構造材とした新規木質ラーメン工法の実証試作	NPO法人未来産業創造おおさき
69	株式会社キャニング	セルフクレンジングファスナーの非鉄金属(銅および銅合金)への圧入	株式会社七十七銀行
70	有限会社コスモテックス	ICタグを用いた義歯紛失予防・追跡発見装置の開発による新規需要の創造	株式会社七十七銀行
71	みやぎ金属工業株式会社	高耐震・高耐候性電気ボックスの試作品作り	株式会社七十七銀行
72	古賀オール株式会社	少量多品種短納期に対応するオートシャーリングマシンの開発導入	商工中金
73	株式会社新澤醸造店	通年醸造(四季醸造)における安定した製品づくりと環境のデータ化	大崎商工会
74	船山建設株式会社	ツルムラサキの「エグ味」成分を低減するための栽培環境条件の検証	丸森町商工会
75	株式会社Co-Buy	遺伝子薬剤投与治療用精密シリンジポンプの製品開発	税理士法人植松会計事務所
76	工藤電機株式会社	製品構成データをリアルタイムに統合した生産管理システム	株式会社七十七銀行
77	ゼライス株式会社	脳神経機能の維持・改善効果を有する健康食品素材の開発	伊藤五郎税理士事務所
78	青葉化成株式会社	酵素反応と膜乳化を応用した医療・健康食品用の可食性被覆材の研究開発	株式会社七十七銀行
79	株式会社東京ファッション	高難度素材の可縫製と若年作業者に対応する設備と安定品質を実現	亘理山元商工会
80	三丸化学株式会社	新規な免疫化学的診断薬製品の量産試作と製造設備の構築	株式会社七十七銀行
81	株式会社ヴィークル	BMSを駆使した可搬式パーソナルヴィークル用機械制御機構の開発	株式会社七十七銀行
82	株式会社メムス・コア	サブミクロン金粒子を用いた低温MEMS接合ビジネスの展開	商工中金
83	本吉スーツ株式会社	洗濯しても縮まない服をつくる為の、生地整形技術の試作開発	気仙沼信用金庫
84	株式会社ヨシムラ	PVC混合廃プラスチックの脱塩素前処理機能付き熱分解油化装置の試作	一関信用金庫
85	株式会社菊地製作所	市場ニーズを捉えた世かまぼこ用の成形装置の試作開発	株式会社七十七銀行
86	金の井酒造株式会社	高精度分析システム導入による有機肥料栽培「亀の尾」を用いた新商品開発	株式会社七十七銀行
87	株式会社ナカトガワ技研	デジタルマイクロスコープ導入による精密金型の短納期化・生産性向上の実現	株式会社マイルストーン・コンサルティング・グループ
88	三養水産株式会社	オゾン殺菌海水による“生食用”牡蠣の安全品質向上とブランド力の強化の確立	株式会社七十七銀行
89	株式会社モビーディック	自動裁断機導入(CAM)による既製品の低コスト・短納期化	株式会社七十七銀行
90	パティスリーミティーク	立体造形ラテアートとドリンクケーキの商品開発による競争力強化と売上増強	公益財団法人みやぎ産業振興機構
91	バイスリープロジェクト株式会社	表面欠陥検査用同期式光学ヘッドの開発	渡邊明裕税理士事務所
92	株式会社山和酒造店	低アルコール本格清酒の開発による新市場開拓	株式会社七十七銀行
93	テクノウイング株式会社	中堅中小小売・サービス業への来店客増加支援システムの試作開発	公益財団法人みやぎ産業振興機構
94	株式会社TBA	遺伝子検査用ストリップ(PAS)の量産体制の確立	株式会社七十七銀行
95	株式会社北光	高密度集積基盤を有する製品への個別製造履歴印字方法の研究開発及び個別製造履歴追跡可能な仕組みの構築	株式会社七十七銀行
96	合資会社齋藤メッキ工業社	自動車部品の生産に必要なダブルニッケルクロムめっきの自動処理技術の確立	公益財団法人みやぎ産業振興機構
97	株式会社金魂	「伊達の食文化」の海外輸出を可能にする仕出弁当の加工技術の開発	社の都信用金庫
98	ジャパン・エンジニアリング株式会社	日本初、スクリンプラー配管設備のステンレス化と溶接レスによる省エネ化	株式会社ヒューマンネット・コンサルティング
99	KFアテイン株式会社	豪雪地域の屋根及び陸上構造物の積雪低減を図る環境配慮重視型塗料開発	公益財団法人みやぎ産業振興機構
100	株式会社フォトニックラティス	超高速イメージセンサへのフォトニック結晶実装技術開発事業	公益財団法人みやぎ産業振興機構
101	株式会社角星	新しい清酒の飲用スタイルを実現する高アルコール濃度清酒の醸成	株式会社岩手銀行
102	光電子株式会社	多機能ウェアラブル活動量計用無接点給電装置の開発	NPO法人未来産業創造おおさき
103	株式会社ナナイロ	Web技術を活用した「多言語対応新観光ガイド」システムの構築事業	ダイナミックビジネスブレイン
104	株式会社国本	使用済み電線リサイクルの改善による雇用の確保及び環境負荷の低減	公益財団法人みやぎ産業振興機構
105	株式会社ミナト水産	シルバーフード事業(高齢者向け食品製造)及び新商品野菜の乾燥「のり」開発	気仙沼信用金庫
106	日京工業株式会社	「高速型巻線機導入による、巻線コイルの技術力及び生産性の向上」	公益財団法人みやぎ産業振興機構

P54

NO	申請者名称	事業計画名	認定支援機関名
62	株式会社渡邊商店	名入包装資材の内製化による自社供給能力の向上計画	YAC税理士法人
63	株式会社コスメティック・アイダ	昆布残渣の再利用によるフコイダンの抽出	城南信用金庫
64	株式会社田中モデル	マシニング加工技術の確立による木型主型・中子の手仕上げ工程レスの生産プロセス開発	株式会社七十七銀行
65	株式会社平孝酒造	高品質の日本酒を通年販売可能にするシステムの構築	株式会社七十七銀行
66	大倉工業株式会社	高精度加工機導入による高機能金型開発の実現と世界競争力に貢献	佐藤光生税理士事務所
67	有限会社菅原	伊達いわなの養殖技術の高度化及びゼロ・エミッション型内水面養殖技術の確立	くろかわ商工会
68	有限会社女川総合観光開発	高齢者に配慮した利便性・食生活向上を追求した 地域密着型スーパー出店事業	女川町商工会
P20	株式会社ジー・イー・エス	スカルメルト法による酸化ガリウム単結晶育成のための融解技術の開発	宮城第一信用金庫
70	イワサキ通信工業株式会社	内視鏡用超極細線・狭ピッチ同軸ケーブルの品質評価方法の確立	株式会社七十七銀行
71	株式会社放電	小型切削加工機による中仕上げ加工技術・高効率生産プロセスの開発	株式会社七十七銀行
72	さくら株式会社	次世代自動車燃料基地等向けステンレス配管製造用の機械設備導入	株式会社ヒューマンネット・コンサルティング
73	テクノウイング株式会社	人型ロボット活用による集客・接客・増客支援ソフトの試作開発	公益財団法人みやぎ産業振興機構
74	萩野酒造株式会社	清酒の加熱殺菌・貯蔵工程の改善による品質向上と安定供給	株式会社七十七銀行
P22	株式会社セーフティ	画像認識カメラ搭載自動選別機導入による精度及び生産性向上と増収計画	石巻信用金庫
76	株式会社二上	米粒と水のみで作る新しい米めんの生産及び販売	吉田徹税理士行政書士事務所
77	TCIC JAPAN株式会社	UVインクジェットプリンターの導入による生産工程の革新と壁紙市場への進出	多賀城・七ヶ浜商工会
78	五光食品株式会社	照射乾燥法を活用する旨味成分を増大させた社蠟乾燥品の商品化	株式会社仙台銀行
79	スギヤマプラスチック株式会社	自動車用シートを下支えするシートスプリングの革新的製造方法への挑戦	NPO法人未来産業創造おおさき
80	有限会社ジェット工業	新型マシン導入と新たなノウハウ獲得による部品サイズアップへの挑戦	成長戦略株式会社
81	株式会社佐々木鉄工所	短納期・低コスト・安全性の高い溶接ロボットの開発	東京中央経営株式会社
82	株式会社島茂商店	高速鉄道の安全安心快適を担保する、軌道保線用通り高低測定装置の開発	NPO法人未来産業創造おおさき
83	マサキデンタルクリニック Platinum Office	CTの導入による革新的歯科インプラント治療法の開発及び拡大	ユナイテッド・アドバイザーズ 税理士法人
84	株式会社全晴	医療の高度化に向けた医療機器メーカー向け超精密ボールゲージの開発	若杉公認会計士事務所
85	株式会社アルコム	ウェアラブル端末向け超極小コネクタ用精密金型の試作開発	株式会社ブレインコンサルティング
86	野菜ジェラート専門店なるこりん	オール大崎の地域食材を使った体に良い新しいジェラートの開発	玉造商工会
87	株式会社クロコ	タイ王国へのスマートフォンアプリ展開・運営支援サービスの開発	ユナイテッド・アドバイザーズ 税理士法人
88	株式会社アーリークロス	ハンドメイド文具の小ロット発注への対応サービスの提供	株式会社高崎総合コンサルタンツ
89	株式会社鈴木印刷所	本社一括発注・複数拠点異部数配達事業参入(川下展開)に向けたITと最新製本機の導入	商工中金
90	小糸樹脂株式会社	樹脂材料の旋盤加工での切粉排出を容易にする新規加工技術の確立	公益財団法人みやぎ産業振興機構
91	サンエスエンジニアリング株式会社	地球環境に配慮した洗浄剤及びコーティング剤の開発製造	商工中金
92	株式会社エムズ	全自動裁断機導入による小ロット・高品質を低コストに実現する生産プロセスの革新	株式会社横浜銀行
93	有限会社伸和精工	精密放電加工機導入による小型レンズモジュール製造技術革新事業	株式会社東北銀行
94	有限会社シー・キューブ	介護施設運営ノウハウとITを活用したリスクマネジメントシステムの構築による新規事業への参入と拡大	くろかわ商工会
95	株式会社イグス	特許取得の画期的なアトピー性皮膚炎の肌質改善剤・薄毛改善外用剤の製造提供	社の都信用金庫
96	株式会社晃和工業	MNBKLノズル処理海水を活用した人工種苗の害敵生物除去による・養殖生産の高効率水処理システムの開発	株式会社七十七銀行
97	佐々木鐵工株式会社	最新溶接ロボットの導入による社内生産力の強化と地域の担い手となる若手人材の育成	若杉公認会計士事務所
98	梶原電気株式会社	強風・自然風・鹿風を原動力とした低回転でも安定的に電力を供給できる発電装置の試作開発及び商品化	商工中金
99	バイスリープロジェクト株式会社	組込み型表面欠陥検査装置の開発	渡邊明裕税理士事務所
100	小野精工株式会社	野生害獣駆除装置の実用化に向けた試作・評価	岩沼市商工会

NO	申請者名称	事業計画名	認定支援機関名
21	阿部勘酒造株式会社	原料処理工程の正確性の向上と製造環境の改善	社の都信用金庫
22	株式会社ハシカンブラ	付加価値向上を目的としたIT活用のインフラ点検診断技術導入	株式会社七十七銀行
23	有限会社マルキチ阿部商店	宮城・女川発匠の技が織りなすお手軽な土産品開発事業	女川町商工会
24	ミズノシーフーズ株式会社	遠距離エリアへの市場拡大・拡販を目指すため、賞味期限日数の長い商品の試作開発	株式会社七十七銀行
25	大東精密株式会社	のぞき見防止を実現する空中表示モニターの試作・開発	公益財団法人みやぎ産業振興機構
26	東邦メック株式会社	新工法による自動車向け燃料圧センサー部品の量産化に向けた表面処理技術の開発	公益財団法人みやぎ産業振興機構
27	株式会社ワイドテクノ	ミニマルファブ用スパッタ技術を支える高品質ターゲットの開発	公益財団法人みやぎ産業振興機構
28	株式会社コーテック	多品種少量生産向け磁場重畳誘導放電型スパッタリングシステムの開発	公益財団法人みやぎ産業振興機構
29	ティーエス環境株式会社	堆肥化施設における生産能力向上のためのマルチロータリー技術開発事業	株式会社東北銀行
30	千田酒造株式会社	品質の向上を目指し、発酵工程の管理作業の効率化及び高性能化を図る。	栗駒郷工商会
31	株式会社トラスト	多品種少量生産の対応を効率的に行う、実装支援システム実用機の試作開発	亘理山元商工会
32	株式会社阿部長商店	ITを活用した外国人宿泊客おもてなし対応策等の展開	小野京子税理士事務所
33	株式会社ヤマウチ	宮城県産米と南三陸に水揚げされた魚を活用した美味しい非常食の製造開発	南三陸商工会
34	有限会社桜井機械工業	ベルトコンベアの高機能化要素の開発とそれを製作可能にする構造の開発	株式会社七十七銀行
35	恵和興業株式会社	廃光学ガラス材及びリチウムイオン電池正極材からのレアメタル製品の試作	株式会社東邦銀行
36	株式会社MAYURA	障がい者でも安全に使用可能なベーカーリ設備の開発	東京中央経営株式会社
37	株式会社新澤醸造店	当蔵初の全麹仕込みの試作開発と麹データの最適化	大崎商工会
38	株式会社ワンワールド	極細繊維化による、高々断熱性能を持つグラスウールの開発	株式会社七十七銀行
39	株式会社真壁技研	液体ガスを用いた高性能ノズルによる超急冷粉末製造法の開発	税理士法人植松会計事務所
40	株式会社門間筆筒店	新たな販路そして、仙台筆筒の存亡をかけたECサイトの立ち上げ	公益財団法人みやぎ産業振興機構
41	東北マイクロテック株式会社	三次元LSIの低価格生産技術開発	菊池祐輝税理士事務所
42	東北パイプター工業株式会社	プラント配管における特殊製品製造のワンストップ化	東松島市商工会
43	株式会社青木製作所	超精密加工部品の試作・量産対応型変種変量生産体制の構築	株式会社浜銀総合研究所
44	有限会社佐々木酒造店	名取産のメロン「クールボジャ」を使用した高付加価値型の新酒開発事業	名取市商工会
45	サンキョーシャッター株式会社	近所迷惑にならない静音手動シャッターの開発	株式会社きらやか銀行
46	東京発條株式会社	亜鉛メッキ鋼板のバリ取り工程の自動化によるコスト低減と納期短縮	協同組合さいたま総合研究所
47	未永海産株式会社	深絞機の新しい金型導入による少量個食包装製品の開発と生産ラインの構築	商工中金
48	日成化工株式会社	最新型パーチカルカッター導入による作業効率化及び新分野進出	商工中金
49	株式会社メムス・コア	MEMS型サーモパイルを用いたマイクロカロリメトリーのビジネス展開	商工中金
50	株式会社IFG	非接触型電気刺激法を用いた細胞分化促進装置の開発	公益財団法人みやぎ産業振興機構
51	サイエンス・テクノロジー株式会社	塗布技術を用いた小型スロットダイコーターの開発・販売	株式会社七十七銀行
52	ケイテック株式会社	省エネ性に優れた新式の車載用および医用バックライトの試作開発	公益財団法人みやぎ産業振興機構
53	株式会社タック	原子力発電所で使用する大型排風機(アララベンチ)の製作事業	商工中金
54	東社シーテック株式会社	超音波エコー画像を用いた携帯型の魚の雌雄判別装置の開発	日向雅之税理士事務所
55	株式会社中田デンタル・センター	CAD/CAM導入による先進医療保険適用の歯科技工物の生産効率化	株式会社大戸コンサルタント
56	株式会社福一	有効成分高濃度含有ヨモギペースト製品の製造方法の確立	株式会社七十七銀行
57	明治合成株式会社	医療機用部品の自動成形加工と自動検査の連動による高品質化	公益財団法人みやぎ産業振興機構
58	岩城電気設備	地デジ放送波測定用補助装置「イワキ式電波測定補助装置」の試作開発	本吉唐桑商工会
59	株式会社佐藤金属	湿式法による使用済電気部品等からの銀の高効率回収プロセスの試作開発	車田正光税理士事務所
60	株式会社イデアルスター	フィルム型有機薄膜太陽電池の量産製造技術の開発	株式会社七十七銀行
61	株式会社アルテックス	高品質密閉型ガス溶解炉導入による品質の向上、コスト削減、作業環境改善	株式会社七十七銀行

NO	申請者名称	事業計画名	認定支援機関名
31	伊藤黒鉛工業株式会社	C/Cコンポジットの原価低減に寄与するマシニングセンタ用長寿命工具の開発	株式会社大垣共立銀行
32	有限会社大町機工	複合加工機を用いたハステロイ製オートクレーブ用分解容器の開発	公益財団法人みやぎ産業振興機構
33	ぜんぎよれん食品株式会社	新たに産地で魚の生食向け(高鮮度)スライスを製造し、商品開発と生鮮流通にとり組むことでの需要創出	株式会社七十七銀行
34	イデア・インターナショナル株式会社	Li+イオン内包フラーレンの量産技術ならびに量産体制の確立	齋忠男税理士事務所
35	株式会社ビッグ・ママ	クレーン情報による業務改善、おもてなし能力による海外市場の拡大	株式会社七十七銀行
36	東北三吉工業株式会社	最新型レーザー切断機における高効率省資源加工の実現による革新的な加工技術の確立	株式会社七十七銀行
37	有限会社山藤運輸	資源循環から始まる南三陸ブランド化農作物運送事業	商工中金
38	株式会社燦燦園	出張型いちご狩り体験事業	株式会社仙台銀行
39	はたけな製麺株式会社	塩分無添加製麺工程の高度化及び塩分無添加製麺法を活用した新商品開発	株式会社七十七銀行
40	プラスエンジニアリング株式会社	新工法による高アスペクト比の超微小径穴加工技術の開発	公益財団法人みやぎ産業振興機構
41	株式会社宝栄鉄工	厚板鋼材精密切断加工技術の導入による荷役・重機設備等架装技術革新事業	株式会社ABKビジネスパートナーズ
42	台湾喫茶慢瑤茶	安価で高機能な食品乾燥技術の試作開発	蔵王町商工会
43	株式会社石岩精工	新工法によるカーバッテリー端子の品質・生産性向上とコスト削減可能な量産化体制の構築	公益財団法人みやぎ産業振興機構
44	MIRAI株式会社	IOTを活用した「儲かる植物工場」を実現する、多質域発の生産管理システムの開発	公益財団法人みやぎ産業振興機構
45	マリンプロ株式会社	地産食材を生かしたオンリーワン商品の開発と量産化	株式会社七十七銀行
46	株式会社馬淵工業所	150℃以下の未利用廃熱を利用した冷凍サイクルの開発	公益財団法人みやぎ産業振興機構
47	光電子株式会社	中小製造企業向けIoTの開発導入による生産性向上と利益体質強化	NPO法人未来産業創造おおさき
48	トラスト・メカ株式会社	最新の超精密加工機導入による電子部品製造装置の品質向上、低コスト化、及び短納期による競争力強化の実現	公益財団法人みやぎ産業振興機構
49	株式会社サンテック東北	高効率成形技術の高度化とIoTを活用した変種変量生産の効率化・稼働率向上	商工中金
50	KFアテイン株式会社	標識板向け着雪防止塗料の試作開発	株式会社仙台銀行
51	ヤグチ電子工業株式会社	リアルタイム個人線量管理スマートパッチ	石巻商工信用組合
52	株式会社一ノ蔵	低温制御による、貯蔵管理技術を開発し、高品質な吟醸酒を製造する	商工中金
53	株式会社新澤醸造店	TPP加盟国ニーズに対応する新たな「究極の食中酒」の試作開発	大崎商工会
54	株式会社海祥	最新ノン・トレイラッパー導入による品質保持技術及び包装工程改善による安全性と生産性の向上	コスト経営研究所
55	東北マイクロテック株式会社	積層型DRAM評価用シリコンインターポーザの歩留まり向上及び品質向上	菊池祐輝税理士事務所
56	工藤電機株式会社	「IoTによる加速器関連電源機器の予防保全システム」	株式会社七十七銀行
57	株式会社フォトニックラティス	光ファイバ通信向けフォトニック結晶の実用化技術開発事業	株式会社きらやか銀行
58	株式会社JDSound	高音質スピーカーを搭載したA4サイズのDJ機器の開発	オフィスかよこ
59	株式会社ケイズデータ	地下街や建物内の高精度地図製作機器及びシステムの開発とサービス提供	日本みらい税理士法人
60	株式会社畠茂商店	小規模事業者連携による大手自動車部品製造会社向け検査装置の開発	NPO法人未来産業創造おおさき

※事業中止案件を除く ※採択一覧は、以下の理由により採択公表時のものと異なります
 ・企業名等が採択時から変更された事業者(名称変更等)については、変更後の名称で掲載しております ・採択後に辞退等があった案件については、一覧から除いております

「平成28年度補正 革新的ものづくり・商業・サービス開発支援補助金」採択企業一覧

NO	申請者名称	事業計画名	認定支援機関名
1	本田精機株式会社	IoTを活用したAI機能搭載の複合加工機導入による航空機部品製造プロセスの継続的改善	中央総合税理士法人
2	株式会社サトー技建	3次元測量設計システムを進化させた、新たなビジネスモデルの創造と確立	株式会社七十七銀行
3	株式会社スライモード	全自動裁断機導入による小ロット・高品質を低コストに実現する生産プロセスの革新	株式会社七十七銀行
4	有限会社木村屋商事	高品質スカーフ縫製技術の向上による受注体制確立戦略	石巻かほく商工会
5	佐々木発條株式会社	多品種少量角線パネの生産性向上	株式会社東日本銀行

NO	申請者名称	事業計画名	認定支援機関名
101	海と森企画株式会社	電子レンジで簡単に食べられるおいしい冷凍魚料理の開発	株式会社七十七銀行
102	株式会社タフコートジャパン	業界初。水性かつ透明の防錆表面処理技術の確立	若杉公認会計士事務所
103	工藤電機株式会社	超電導コイル用汎用直流電源の試作・開発	株式会社七十七銀行
104	有限会社東北工芸製作所	宮城県指定伝統的工芸品「玉虫塗」ナノコンポジット塗装の商品化	税理士法人大藤会計事務所
105	アンデックス株式会社	水産×IT 震災復興のビッグデータ・オープンデータ活用事業	内海敬夫税理士事務所

※事業中止案件を除く ※採択一覧は、以下の理由により採択公表時のものと異なります
 ・企業名等が採択時から変更された事業者(名称変更等)については、変更後の名称で掲載しております ・採択後に辞退等があった案件については、一覧から除いております

「平成27年度補正 ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金」採択企業一覧

NO	申請者名称	事業計画名	認定支援機関名
1	株式会社ホンテック	最新の5面加工機導入による航空宇宙関連部品のQ(品質)C(価格)D(納期)改善	中央総合税理士法人
2	株式会社コスモス	医療機器に関する部品及び部品輸送用トレー洗浄技術の構築	株式会社七十七銀行
3	株式会社デジタルプレイス	特殊コーティング素材・長尺デジタル印刷融合による試作品開発の設備投資(変化する社会環境・多様化ニーズに対応し地方創生)	石巻信用金庫
4	小宮山印刷工業株式会社	ロボット技術によるマスキングテープの仕訳ミス防止と生産性の向上	東京信用金庫
5	有限会社工研	薄板絞りプレス加工における高精度・低コスト実現のプロセス改善	株式会社七十七銀行
6	いづか歯科	顎関節治療の発展的展開による先進的治療体制の構築	株式会社七十七銀行
7	佐藤印刷株式会社	高付加価値印刷物の開発と印刷に係る付加価値サービスの開発	丸森町商工会
8	株式会社サンスイ	安心安全な生産体制確立によるファストフィッシュ製品販売強化戦略	女川町商工会
9	株式会社日本オートシャッター	金属製品難加工技術の習得及び新素材の活用による差別化戦略の推進	利府松島商工会
10	水野水産株式会社	省力化浦鉾型整機による手作り蒲鉾の大量生産とIT原価管理	税理士法人植松会計事務所
11	株式会社ネオテック	生産プロセスの高速化・微細化革新で、強みを一層伸長・発展させ、顧客の精密化要求に対応	株式会社仙台銀行
12	株式会社株本	代替加工によるリードタイム短縮と低コスト化の実現	株式会社七十七銀行
13	仙台エンジニアリング株式会社	先端医療技術に貢献するMIM成形用金型の精密加工技術開発事業	株式会社七十七銀行
14	いかや	女川の水産資源を活用した万能調味料の試作開発と販路開拓事業	女川町商工会
15	株式会社フードケアリ	加工食品開発における新たな分析ニーズへの対応	株式会社七十七銀行
16	株式会社サスティナライフ森の家	宮城県産の間伐材を活用した内装加工材・建具材の試作品開発	吉田徹税理士行政書士事務所
17	株式会社ハプロファーマ	癌細胞から漏出した血中循環DNAを高感度に測定できる診断キットの開発	公益財団法人みやぎ産業振興機構
18	アドオン株式会社	内製化データ拡充によるUV硬化インクジェットプリンターを利用した建材市場への新規参入	川崎信用金庫
19	ワイデーエス株式会社	エアサウンドプラスタマシンを利用した、独自の船舶エンジンメンテナンス工法(YDS工法)の確立	石巻信用金庫
20	有限会社上戸製作所	マシニングによる高精度微細加工技術確立で難削材のバリ取り・磨きレス生産プロセス開発	株式会社七十七銀行
21	有限会社黒澤工業所	最新鋭マシニングセンター導入による高速化プロセス開発	株式会社七十七銀行
22	株式会社エフ・ケー・テクノ	新ユニットハウス部材の開発における技術高度化及びプロセス革新による短納期の実現	株式会社エフアンドエム
23	有限会社メカ工業	極細同軸ケーブル用横巻シールド線の開発	株式会社七十七銀行
24	株式会社佐々木鉄工所	誰でも簡単に高品質・短時間で加工可能なH型鋼の溶接部分専用加工機	東京中央経営株式会社
25	株式会社アルコム	IoTを活用した部品加工標準化と海外工場での金型製造実現による競争力強化	商工中金
26	株式会社真壁技研	急冷プロセス開発の基盤技術高度化および急冷部材品質の把握	税理士法人植松会計事務所
27	北光エンジニアリング株式会社	最新式電動ハイブリッド型射出成形機による生産性向上とコスト競争力強化	株式会社七十七銀行
28	株式会社ヤマウチ	圧力酵素分解を使った地域資源活用の新しい調味料の製造	南三陸商工会
29	株式会社セイトウ社	PUR製本設備の導入による高強度製本加工の実現と検査体制の充実	株式会社高崎総合コンサルタンツ
30	バルサーシステム	自治体の防災対策に特化した簡易設置型潮位・水位観測システム開発事業	本吉唐桑商工会

NO	申請者名称	事業計画名	認定支援機関名
45	マルニ食品株式会社	種菓子製造工程での真空冷却機導入による品質向上と短納期の実現	株式会社七十七銀行
P40 46	東北マイクロテック株式会社	三次元積層型X線センサの顧客開拓のためのデバイスサンプル作成	税理士法人プロフェッションズ
P42 47	萩野酒造株式会社	伝統的な清酒の山鹿造りの高品質化と効率的な増産体制強化による海外等への販路拡大	株式会社七十七銀行

※事業中止案件を除く ※採択一覧は、以下の理由により採択公表時のものと異なります
 ・企業名等が採択時から変更された事業者(名称変更等)については、変更後の名称で掲載しております ・採択後に辞退等があった案件については、一覧から除いております

「平成29年度補正 ものづくり・商業・サービス経営力向上補助金」採択企業一覧

NO	申請者名称	事業計画名	認定支援機関名
1	株式会社ホンテック	三次元測定機による複雑形状部品の評価・測定方法の高精度化	中央総合税理士法人
2	花楯産業株式会社	高周波焼入炉を導入した打刃物製造ラインの多能工化	株式会社山形銀行
3	株式会社角谷製作所	高精度な測定器の導入により、形状複雑化する半導体製造装置部品の新規受注の獲得	株式会社仙台銀行
4	小宮山印刷工業株式会社	ロボット技術を活用したノンオペレーターシールの高い生産技術の開発	東京信用金庫
5	本田精機株式会社	ファイバーレーザー溶接機導入による溶接加工技術の確立	中央総合税理士法人
6	株式会社北光	大型化する自動車用電流センサー、制御部品の受注競争力強化	株式会社七十七銀行
7	株式会社阿部製置	畳小売店へのリテールサポート強化による顧客満足実現事業	加美商工会
8	株式会社東京ファッション	取引先の期待に応える難仕様デザイン婦人服生産体制構築事業	亘理山元商工会
9	毎日発條株式会社	自動車シートベルト全席着用に伴う内部構造部品の精度向上	株式会社エフアンドエム
10	株式会社京浜サプライズ	精密加工高度化と工程改善の原価低減による生産用機械器具製造分野への受注拡大	株式会社七十七銀行
11	株式会社プロスバイン	CNC旋盤の導入による多品種少量生産の効率的運用方法の確立	古川信用組合
12	共栄プラスチック株式会社	チューブフィルムハイエンド印刷システムを用いた生産性の向上	株式会社仙台銀行
13	有限会社スポーツショップマツムラ	今後増加する中高年を対象とする「心と体をサポート」するシステムの構築	YAC税理士法人
14	株式会社高橋徳治商店	安心・安全を供給する無添加製品に特化する事業の生産性向上計画	YAC税理士法人
15	株式会社モードクリハラ	ニット製品のイーージーオーダーによる製造小売りへの進出	栗原南部商工会
16	株式会社メビテック	自動化が進む食品加工工場における機械装置部品の大型化対応とリードタイムの短縮	株式会社仙台銀行
17	テクノウイング株式会社	飲食サービス業向け来店客のスマホを活用したセルフオーダーシステムの試作開発	公益財団法人みやぎ産業振興機構
18	株式会社小林食品	納豆生産量の安定化と製造原価低減を実現する新生産プロセス構築	公益財団法人みやぎ産業振興機構
19	株式会社東京ノズル製作所	外地操業漁船とITネットワーク構築により修繕対応の短縮化を図り漁船の操業率向上支援事業	株式会社東北銀行
20	仙南生コンクリート株式会社	生産プロセスの改善による生コンクリート需要環境変化への対応実現	株式会社七十七銀行
21	有限会社島金商店	地場海藻類を活用した機能性食品の開発	株式会社七十七銀行
22	いずみ中山歯科	患者満足度・労働生産性向上、残業ゼロ化達成のための口腔内デジタル光学スキャナ・3Dプリンタ等導入	株式会社岩手銀行
23	有限会社ヤマグチ看板工芸社	看板型枠用鋼材の切断、穴あけ、切欠き加工自動・効率化設備導入計画	伊藤五郎税理士事務所
24	志賀工業株式会社	CNC制御高精度プレスブレーキ導入により高品質・短納期に実現する生産の革新	株式会社七十七銀行
25	有限会社長岡精密	簡易型LMガイド製作の技術開発	古川商工会議所
26	株式会社さきみ製麺	高品質と低価格を両立した新たな白石温麺の開発及び生産体制確立	東京中央経営株式会社
27	株式会社石巻水産鉄工	ホタテウロ取り装置へのハンドリングシステム・ヒモカット機構の追加	株式会社仙台銀行
28	えみあす訪問マッサージ	リラクゼーション分野での新たな健康促進サービスの開発	大河原町商工会
29	プラスエンジニアリング株式会社	チタン合金、ニッケル合金に代表される高機能金属材料の高精度加工技術の開発と生産性向上	公益財団法人みやぎ産業振興機構
30	株式会社田中モデル	木型製作に可視化技術を活用し鋳造不良を削減する高能率金型製作技術の研究開発	株式会社七十七銀行
31	株式会社とくら運送	移動型低酸素施設による高地トレーニング提供サービスの開発と普及	及川哲也
32	バイスリープロジェクト株式会社	ロボット搭載型高速表面欠陥検査装置の開発	税理士法人勾当台会計事務所

NO	申請者名称	事業計画名	認定支援機関名
6	株式会社酒井機材製作所	顧客要求が変化し続けるICT市場に、溶接の高度化と生産ソリューションの実現でフレキシブルに対応し、部材加工のコンビニエンススタア化を目指す	株式会社北海道銀行
7	和光技研工業有限会社	自動旋盤導入による、生産コスト削減と短納期・多品種・多変量供給の体制強化	仙南信用金庫
8	株式会社マルモ内海求商店	業務用ニーズに柔軟に即応できる焼海苔の製造・販売体制の確立	ミア・カーサ経営支援室
9	合名会社寒梅酒造	自社栽培米の等外米を有効利用した新商品の試作開発	株式会社七十七銀行
10	栗原木工株式会社	多様化する消費者要望に対応する高度なデザイン加工技術の構築	株式会社七十七銀行
11	株式会社あかふさ食品	手ほぐしフレークの安全性強化及び量産化のための製造設備強化	株式会社東北銀行
12	株式会社福膳	農商工連携による「蔵王産カズザキヨモギ」を使用した美味しく食べられる機能性表示食品の製造方法の確立	川崎信用金庫
13	株式会社サンエム	測定工程の高度化による高精度金型の生産性向上	株式会社マイルストーン・コンサルティング・グループ
14	有限会社菅武エンジニアリング	測定検査工程の高度化による製品の品質向上、低コスト化、短納期化の実現	商工中金
P16 15	笠原餅店	薪と釜戸で作る安全・安心な「和スイーツ」生産体制の構築	くろかわ商工会
16	株式会社仙台スプリング製作所	最微細スプリングの量産ニーズへの対応	若杉公認会計士事務所
17	キョーユー株式会社	大型航空機部品の量産体制強化に向けた生産プロセスの全体最適化	公益財団法人みやぎ産業振興機構
P58 18	株式会社矢本製作所	高精度、長寿命、低コスト化を実現する鋼矢板「YS工法」の開発	石巻商工信用組合
19	小宮山印刷工業株式会社	印刷後工程のロボット化による生産性の向上	東京信用金庫
P28 20	株式会社仙台紙工印刷	カラーマネジメントシステムを融合した速乾印刷技術の確立による競争力強化	株式会社高崎総合コンサルタンツ
21	有限会社クサカ鋼材	高精度金型材の供給体制構築と生産性向上、多様性を有する 鋼材問屋への変革	株式会社七十七銀行
22	有限会社サンシステム	高度研磨技術のマニュアル化による、高精度検査機器部品の生産システムの構築	税理士法人タカキ会計
23	ASK仙台株式会社	大型厨房フード等の1,400mm以上の大型板材加工の内製化による歩留まり率改善とコスト改善による競争力強化計画	株式会社仙台銀行
24	平塚商店	最新型マシン導入による極上「いか塩辛」輝きアップ!販路拡大事業	塩釜商工会議所
25	株式会社ホクトコーポレーション	高付加価値商品の開発のための水なしLED-UV印刷技術の確立	商工中金
26	株式会社富士精密	超音波援用旋削による高精密・超微細穴加工技術確立での販路拡大	株式会社七十七銀行
27	共伸プラスチック株式会社	大型樹脂成形品装着用クリップの自動組付け技術開発	NPO法人未来産業創造おおさき
28	プロモーターズ遊佐	軽自動車廃エンジン再生によるコージェネレーションの開発	NPO法人未来産業創造おおさき
P44 29	有限会社平岡製工社	独自のプラストマシンを開発しSUS304 No1特有の梨地肌の形成を実現	石巻商工信用組合
30	水野水産株式会社	手作り感のある2層化揚げ蒲鉾のオートメーション化とIT活用の生産ロス管理	商工中金
31	株式会社ホクショウ	東北から世界へ!梱包材リサイクル品管理強化による輸出専用ライン構築事業	株式会社ABKビジネスパートナーズ
P12 32	アイデア・インターナショナル株式会社	革新的プラズマ源の導入による生産革新で内包フラーレンのグローバル試業市場を確立	齋忠男税理士事務所
P48 33	株式会社宮城化成	Hybrid難燃化技術による高性能難燃コンポジット製品の開発	公益財団法人みやぎ産業振興機構
34	エーアイシルク株式会社	導電性繊維の生産量を倍増する高速導電性高分子塗布製造装置開発	ユナイテッドアドバイザーズ税理士法人
35	一ノ瀬興業株式会社	足場工事における作業効率向上による工期の短縮・人的資源の有効活用事業	株式会社きらやか銀行
36	有限会社川口グリーンセンター	米粉パンFC事業拡大のための「米ワッサン生地」の安定供給体制の整備	一迫山商工会
P10 37	株式会社アーリークロス	一筆箋のブランド化、自社制作工程の確立とオリジナルメモ帳事業の本格化	株式会社七十七銀行
38	株式会社PSS	製造業の生産性向上に資する、独自方式による機械製造新生産プロセスの実現	石巻商工信用組合
P24 39	仙台伊澤家勝山酒造株式会社	圧搾、検査工程の改善による日本酒のブランド強化、海外展開事業	商工中金
40	光電子株式会社	実験小動物用活動量計への無線給電装置の開発	NPO法人未来産業創造おおさき
41	株式会社渡辺海苔店	東南アジア向けの多湿地域においても流通可能な高品質の新商品開発	南三陸商工会
42	株式会社岩沼精工	IoT・AIと自社加工技術を組み合わせた高性能精密加工 砥石の多品種化・量産化体制の構築	公益財団法人みやぎ産業振興機構
43	株式会社ビック・ママ	熟練者のノウハウ可視化とICT技術の活用による短納期サービス	仙台商工会議所
44	有限会社サンワ技研	IoT活用による加工プロセスの革新及び技能継承円滑化への取り組み	社の都信用金庫

NO	申請者名称	事業計画名	認定支援機関名
73	有限会社大沼酒造店	高付加価値の新商品開発のため、低アルコール純米原酒の試作に取組む	株式会社七十七銀行
74	城南鋼鉄工業株式会社	組立・溶接工程の自動化による生産性向上	城南信用金庫
75	株式会社折居技研	金型製作の効率化・高精度化の追求における最新5軸MCの導入	株式会社七十七銀行
76	イデア・インターナショナル株式会社	新製品「溶剤に溶け易いLi+イオン内包フラーレン」の投入で用途開発市場形成を加速	齋忠男税理士事務所
77	東社シーテック株式会社	超音波画像を用いた魚の半自動判別ラインの開発	旭日税理士法人
78	株式会社上東五和	思い出がよみがえり、ペットと共に埋葬可能な新しいお墓の開発	東松島市商工会
79	有限会社沼田タタミ工業	畳床改良に基づく高付加価値薄畳の新製品開発・販売体制の構築	大崎商工会
80	株式会社カメヤ	足場工事における荷揚げ作業の革新的サービスの開発	東松島市商工会
81	丸幸自動車工業株式会社	東北地方をリードする、最新塗装設備導入による水性塗料対応と生産性向上	商工中金
82	株式会社オリザ	日本初!デザイン量のハイブランドとして、生産～販売一貫体制に挑戦	公益財団法人みやぎ産業振興機構
83	株式会社新澤醸造店	地域別に対応するための多品種少量生産技術の開発	大崎商工会
84	新生自動車工業株式会社	脱着式家畜運搬装置の試作開発	塩釜商工会議所
85	東北マイクロテック株式会社	従来の4倍以上の厚いLSIウェハに形成できる貫通配線(TSV)技術	税理士法人プロフェッションズ
86	株式会社いちごホールディングス	ピンポイント地下水検出装置の再開発による、世界的な水問題の解決	田村公認会計士事務所
87	有限会社千田清掃	減圧蒸留方式導入によるバイオディーゼル燃料の高品質化及び生産効率の改善とCO2削減	古川信用組合
88	株式会社利久	世界初の食品カロリー測定器活用による健康志向顧客向けメニュー商品開発	仙南信用金庫
89	有限会社黒潮重機興業	タブレットを活用した革新的な運行管理による経営効率の向上。	社の都信用金庫
90	和光技研工業有限会社	画像寸法測定器を用いた検査工程の追加による歩留まり率100%の実現	仙南信用金庫
91	株式会社ケージー	自動車分野、産業機器分野向けの新たな加工領域の製造ライン新設による、一層の高付加価値化の実現	仙南信用金庫
92	株式会社コスモス	先端設備導入による精密洗浄の検査工程改善	NPO法人未来産業創造おおさき
93	株式会社興隆運輸	配車表の共有化とデジタルデータの活用による運送業務の効率化	商工中金
94	株式会社及新	厨房内オペレーションを標準化する使い切り個包装製品の量産化	南三陸商工会
95	加美電子工業株式会社	車載内装部品の塗膜品質向上及び高生産性プロセスの構築	公益財団法人みやぎ産業振興機構
96	今野印刷株式会社	IoTを活用した断裁作業の自動化と多能工育成	商工中金
97	千田酒造株式会社	海外展開用高品質日本酒の生産体制と生産性向上の確立	栗駒篤沢商工会
98	ヤグチ電子工業株式会社	医療・環境領域における高付加価値デバイスのODM～販路開拓支援事業	石巻商工信用組合
99	ユニベール株式会社	多様化する消費者ニーズに対応するオーダーカーテンの製造工程改革	株式会社三菱UFJ銀行
100	株式会社ダイワ技術サービス	ICT技術を活用した三次元計測サービス	株式会社七十七銀行
101	有限会社ティスティ伊藤	青果野菜ドライ加工製造による「旬の味覚商品」の長期流通実現	公益財団法人みやぎ産業振興機構
102	株式会社I・D・F	マンガン酸リチウムイオン2次電池製造における品質管理による生産性向上	株式会社七十七銀行
103	ステイブルー株式会社	マーキング製造技術確立による自社オリジナル商品の製造・販売!	石巻商工信用組合
104	Aテックデンタルラボラトリー株式会社	高難度素材ジルコニアを用いた有床義歯製作による義歯寿命の飛躍的向上	株式会社岩手銀行
105	桃浦かき生産者合同会社	凍結と超高压処理の組合せによる安全性の高い殻付カキの製造	株式会社七十七銀行
106	エーアイシルク株式会社	導電性高分子繊維を使った生体情報検出電極製造用溶融技術の開発	ユナイテッド・アドバイザーズ税理士法人
107	東日本油化工業株式会社	ピュアポリウレアでマンホールプロテクター部への湧水侵入防止	株式会社仙台銀行
108	株式会社海心	「生から湯せんでほっくり煮魚」の開発	株式会社七十七銀行
109	株式会社TK自動車	法人企業向けバイフューエル車の製作による新規顧客獲得	東松島市商工会
110	株式会社森商事	マンホールの製造環境技術の高機能化と作業環境の安全性確保	株式会社七十七銀行
111	株式会社佐利	肉質改善技術の確立による鶏むね肉高付加価値化事業	南三陸商工会

※事業中止案件を除く ※採択一覧は、以下の理由により採択公表時のものと異なります
 ・企業名等が採択時から変更された事業者(名称変更等)については、変更後の名称で掲載しております ・採択後に辞退等があった案件については、一覧から除いております

NO	申請者名称	事業計画名	認定支援機関名
33	東亜パッキング工業株式会社	スポット溶接工程改善と設計工程多能工化による生産性向上	NPO法人未来産業創造おおさき
34	株式会社ナカトガワ技研	プレス金型製作手法の改革による量産試作の競争力強化	公益財団法人みやぎ産業振興機構
35	株式会社精華堂霞総本舗	高齢者介護・病院患者向け低菌・異物混入ゼロ米菓の技術開発事業	公益財団法人みやぎ産業振興機構
36	株式会社くりこまくんえん	地元のスギ構造材の強度を測定・表示することによる、安心安全な製品の提供	栗駒篤沢商工会
37	株式会社協友ダイ&モールド	車載用電子デバイス金型製作における省人稼働システムの構築	公益財団法人みやぎ産業振興機構
38	宮城製粉株式会社	レトルトパウチ食品のロボットと包装機の共同技術による生産性向上事業	角田市商工会
39	株式会社東北マテリアルス	横穴加工の超効率化技術を開発し、横穴特化受託の新規事業化計画	仙台商工会議所
40	スガワラ技研株式会社	超高速コネクタ自動組立機の開発による事業拡大	株式会社七十七銀行
41	キョーユー株式会社	省人稼働化による医療機器生産関連部品の生産性の革新的向上	公益財団法人みやぎ産業振興機構
42	新光電子株式会社	光通信用電子基板の自動半田付け技術確立	NPO法人未来産業創造おおさき
43	やぎた歯科医院	仙台観光にきたインバウンド観光客を対象とする1日で完結する治療の提供	森宏一税理士事務所
44	株式会社ワコーファースト商事	イメージを企画に、企画をカタチに。つくるノベルティの実現	株式会社七十七銀行
45	有限会社瓜生製作所	最新型NC自動旋盤の導入による「SCM材の無人大量生産を実現する研究開発」および「生産能力と品質の向上」の達成	株式会社七十七銀行
46	株式会社コサカ	スマホとAIを連動した作業管理システム構築による生産性向上と働き方改革の実現	株式会社山形銀行
47	株式会社ナルケ自動車	次世代自動車(先進安全技術・ASV装備自動車)への対応と生産性向上のための最新設備・技術の導入	株式会社七十七銀行
48	大栄精工株式会社	複合加工機の工程集約による工数削減と加工精度向上による競争力獲得	城南信用金庫
49	株式会社ウチダ	直噴エンジン用プレス部品の金型の高精度化による生産性向上	株式会社七十七銀行
50	株式会社佐藤商会	グローブリークテスターの作業時間短縮と低価格実現のための試作開発	古川商工会議所
51	株式会社東北ドローン	風力発電施設や送電線等の点検を無人航空機(ドローン)で行うサービスの展開	仙台商工会議所
52	株式会社鈴木製作所	高性能画像寸法測定器の導入による製品の精度及び生産性の向上	株式会社VIコンサルティング
53	株式会社フォトニクラティス	コヒーレント光通信用受信光学モジュールの事業化	株式会社きらやが銀行
54	株式会社太陽自動車工業所	トラックの「ワンストップ・トータル・サービス」の確立に向けた整備能力強化	社の都信用金庫
55	株式会社鈴勇商店	被覆銅線を原料とした高純度銅ナゲット製造技術確立事業	株式会社ABKビジネスパートナーズ
56	株式会社オニコウベ	オリジナル発泡酒のOEM生産による付加価値向上事業	玉造商工会
57	株式会社メイドウピエロ	婦人服製造での新縫製技術(布帛製品 TPS縫製)の確立による高付加価値製品量産の実現	株式会社東日本銀行
58	イカリ消毒仙台株式会社	虫発生状況の迅速評価システムの試作	株式会社七十七銀行
59	株式会社アーリークロス	ノベルティの原点回帰、非紙素材へのシフト。販促品の両極の実現	株式会社七十七銀行
60	株式会社鮮冷	「生産プロセス改善による飛躍的な生産性向上と窒素置換技術を活用したCAS凍結刺身商品等の更なる高付加価値化」	株式会社七十七銀行
61	清水量店	薄くて、丸めることが可能な、新感覚で使用できる量の商品化	東松島市商工会
62	株式会社サンテック東北	5G通信網の基地局整備に伴うアルミ電解コンデンサ基板の高度化事業	商工中金
63	有限会社スマッシュ	パッケージの最適ライフサイクルを実現する精巧な抜き加工工程の構築	株式会社高崎総合コンサルタンツ
64	小野精工株式会社	多品種少量・変種変量部品加工を実現する生産プロセスの革新	岩沼市商工会
65	株式会社ホクショウ	輸出コンテナ積み込み時間50%削減を目標とした古紙荷役作業効率革新事業	株式会社ABKビジネスパートナーズ
66	株式会社真壁技研	ガスアトマイズプロセスの生産性向上を目的としたIoT技術開発	税理士法人植松会計事務所
67	有限会社タイヨースチール工業	糸鋼精密加工機導入によるユニット型開閉水門製作技術確立事業	株式会社ABKビジネスパートナーズ
68	東北セラミック株式会社	高通気性焼成セッターの多量生産と高品質を目的とした生産設備の開発	巨理山元商工会
69	株式会社及善商店	低塩無添加の球型状の新しい水産加工り製品の開発	南三陸商工会
70	有限会社篠原機械工業	生産工程の一部自動化に伴う生産プロセスの改善	株式会社七十七銀行
71	株式会社高彩堂	新機構にてコールド箔施工の付加価値化による短納期システム開発	東松島市商工会
72	株式会社三光ダイカスト工業所	SUS加工に対応した設備導入による医療分野への新規参入事業	株式会社静岡銀行

みやぎ・ものづくり補助事業成果事例集

「ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援事業(フォローアップ事業)」

「平成29年度補正ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金」

平成30年12月 発行

発行／ものづくり補助金宮城県地域事務局

宮城県中小企業団体中央会

〒980-0011 仙台市青葉区上杉1-14-2

TEL.022-222-5560

<http://www.chuokai-miyagi.or.jp/>



ものづくり補助金宮城県地域事務局
宮城県中小企業団体中央会